

VOLUME 7 NO.4 JULY 1989

JAPAN REGION



“TOWARDS NEW PROGRESS”

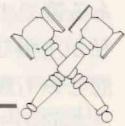
新たな発展へ

目 次

リージョン大会基調演説	1～3
トップ会談	4～8
第7回ITC日本リージョン年次報告	9・10
カウンスル年次報告	11～13
哀 悼	13
日本リージョン会則修正	14～16
スピーチコンテスト優勝者スピーチ	17～19
資格認証調査表	20・21
ITC基金の報告	22
ITC日本事務局基金報告	23～25
リージョン大会写真集	26・27
1989～1990リージョン次期選出役員	28
“ルビー・ムーンITC副会長 Div. VI 滞在記”	29
日本リージョン事務局設立委員会年次報告	30
日本リージョン事務局	31
広 報	32
大会コーディネーター謝辞	33
祝チャーター	34
ITC日本リージョン会員状況	35
議会法規役員として	36・37
トピックス	37
ITCコミュニケーターより	38～46
翻訳者募集のお知らせ	47
ITC日本リージョン役員会	48
編集後記	



リージョン大会基調演説 Region President's Keynote Address



日本リージョン会長 鈴木宏子

1988年から1989年というこの1年は日本に於きましては、昭和の時代の終わりと、新しい平成時代の幕開けという歴史的にも重要な年でございます。

今期日本リージョンは7つのカウンスルとして発足いたしました。新しいカウンスルもそれぞれの会長の素晴らしいリーダーシップの下に充実した1年をすごされました。

日本リージョンの長期目標の一つ1990年までに50クラブという増設の目標を境、米子マンディクラブの認証によって一年早く達成することができました。現在日本リージョンは50クラブ、1,314名の会員を擁する世界で二番目の会員数の多いリージョンと発展いたしました。世界的にみまるとこのように順風の追い風を受けていますのは日本リージョンのみで、多くの他のリージョンでは会員減少という深刻な事態に直面しています。

今年には日本にITCが誕生して40周年を迎えましたが、どんな組織でも40年たちますとそろそろ円熟の時代に入ってまいります。私はこの日本ITCがいつまでも若さと活力を保つにはどうしたらよいかを考えたいという意味で“新たな発展へ”というテーマをかけた。

先ず組織運営の面から考えますと、50クラブ、1,300余名の会員を擁する組織が全国に散らばりリージョン役員の手間ではとても事務処理が出来なくなってきました。幸いにも今期は会長、書記、会計が同じ名古屋に住んでいますので3人で力を合わせてこの一年の事務処理をしまいましたが、年々リージョン役員は全国から出でられるようになると思いますので今期のように出来なくなるでしょう。それでこの数年、事務局、事務所の必要が叫ばれてまいりましたが、経済的な問題で事務所をもつことは不可能と思っていました。しかし今期会長のテーマ“限界を超えて”は私達を勇気づけ、私達の夢を実現させてくれました。日本リージョンの第二番目の長期目標オープンハウスにこぎつけることが出来ました。まだまだ試行錯誤はあるでしょうが、これをどのように活用されるかどうかは次期の役員の方々の課題です。

“新たな発展へ”のために会員層から考える時、結論としていえることはいろいろな幅の会員達のニーズにあう組織でなければならないということです。

日本リージョンの会員の80%が第二種兼業主婦という今日本社会で最も恵まれた方々で、主婦業の傍ら御自分の選択で仕事、勉強、趣味をなさっている、比較的時間に恵まれている方々でカウンスル、リージョンの役員のような時間を必要とする役を引き受けてくださっています。その他はフルタイムで働く第一種兼業主婦及び男性会員と若い働く女性達が20%ありますが時間の束縛があってウィークデイに行われるカウンスル例会やリージョン大会には出席が難しいと思われ。このどの分野に於いても現在日本のITCは発展の可能性があるとは私は考えますが、ITCの理念、会則からはずれていなければ画一的でない多種多様であってよいと思います。主婦の多いクラブでは会則や議事法で煩しくいわれたくない、専門的知識や技術を求めているグループにはどんどん希望のかなえられる専門性を持つクラブとして活動なされればよい。日本で他に類のない英語で例会を運営しコミュニケーションの訓練を受けられるという特質も国際化を目指す現在の日本には大きなニーズが

ある筈です。

私が主張したいことは知識と技術を得たら去っていくクラブではなく、生涯教育の場として喜びも悲しみも幾く歲月というような魅力ある組織、クラブとなればまだまだ発展出来るでしょう。

今回のテーマを“飛翔”といたしました。もう少し高く上がれば世の中がもう少しよく見えます、又夢を希望を高く上げたいという願望からこれを選びました。

シンボルマークを蝶にいたしましたのは長い目立たない青虫やさなぎの時代を経て今日本ITCが美しい蝶に脱皮した喜びを表しています。

どうぞこの2日間の大会が皆様にとって楽しい、蝶のように優雅でかつ実り多い大会となります事を願っております。

Region President's Keynote Address

President Japan Region
Hiroko Suzuki

The year 1988 to 1989 was to Japan, the end of Showa period and the beginning of the new Heisei period, an important year in historical terms.

This term, Japan Region started as 7 councils and the new councils spent a most satisfactory year under the wonderful leadership of each president. The long range plan of extension, clubs up to 50 by the year 1990, was achieved 1 year earlier by chartering the Sakai and Yonago Monday Clubs. Presently, Japan Region, consisting of 50 clubs totaling 1,314 members, has developed into the region with the second largest members in the world. However, only Japan Region is running along with such favourable winds, and other regions are faced with the serious situation of diminishing members.

This year, we are celebrating the 40th Anniversary since ITC was born in Japan, but any organization begins to enter the maturing age after 40 years. I have brought up the theme "Towards New Development" because I wanted to think what we should do in order for Japan ITC to retain it's youth and liveliness for days to come.

First, if we think it over from the viewpoint of organization management, it has become impossible to handle business of an organization consisting of 50 clubs and some 1,300 members in the spare time of region officers who are scattered all over Japan. Fortunately, this term, the President, Secretary and Treasurer all lived in Nagoya and so handled business this past year by combining efforts together. However, I believe that region officers will be able to come from all over Japan as years go on, so it will not be possible to handle affairs as we did this term. So, these few years, the necessity for a secretariat and an office has been cried aloud but we thought it was impossible to have an office due to economic problems. However, the theme of the present ITC president "Reach Beyond" gave us courage and made our dreams come true. We were able to achieve the second long range plan of Japan Region, to open the house. There will be errors made and trials to come yet, but how this office shall be used will be an assignment for the officials next term.

When we think over what is necessary "Towards New Development" from the viewpoint of the structure of members, we may draw the conclusion that we must be an organization which meets the needs of a wide range of members.

About 80% of the members of Japan Region are the so called second type working housewives, that is they work or study or pursue hobbies besides housekeeping, and on the whole, have more free time than others, so take on duties as officers of councils and regions. The other 20% are first type working housewives who work fulltime, male members and young working women, but as they have ties concerning time, it seems difficult for them to attend council meetings or region conferences which are held on weekdays. I think that in all these areas, the ITC of Japan presently has the possibility to expand. As long as each club does not run off from the ideas and bylaws of ITC, I believe it is all right to have clubs which are not standardized but bear various characteristics. Clubs, where housewives are the main

members, may operate without being tied up too much by bylaws and procedures. Groups who seek professional knowledge and techniques may operate as clubs where they may go ahead to meet requests and bear professionalism. The special quality of our organization, that is, no other organization in Japan manages meetings in English and offers training in communication, should have great needs in Japan presently, because we are aiming to become more international.

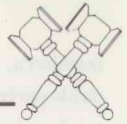
What I would like to stress is that if we are able to become an attractive club offering lifelong education with joys and sadness in the long run, not just a club which members leave after they obtain knowledge and techniques, we will still be able to expand further.

We have chosen "Soaring" as theme for this conference. If we rise a little higher, we can see the world a little bit more. We also chose this theme through our wish to raise our dreams and hopes higher as well. The reason to choose the butterfly for our symbol-mark is in order to represent the joy that Japan ITC has now turned into a beautiful butterfly through the long and unnoticed age after being a caterpillar and a pupa.

I hope from the bottom of my heart that these 2 days of the conference will be a pleasant and a graceful session as the butterfly, and also be worthwhile to you all.

Thank you.





1989. 6. 8 17:00～ 於名古屋観光ホテル桃の間

二日間の大会を終えて、まだその緊張と興奮がさめやらない雰囲気の中で、Div. VI副会長ルビー・ムーンさん、会長の鈴木宏子さん、次期会長のバルク良子さんのお三人にお集りいただき、ITCに対する様々な問題を話し合っていました。以下、敬称は略させていただきます。

- 鈴木**：ITCのレベル(ITCボード)は日本リージョンをどのように理解していますか？
- ムーン**：日本リージョンの状況についてあまり知らないというのが現状です。日本リージョンの抱えている問題についてあまり知らないということです。日本リージョンはとても強力なリージョンです。日本リージョンは非常な勢いで拡大しています。ボードは世界の他の多くのリージョンが縮小している現在、どうして日本リージョンではこのように多くの新会員をひきつけることができるのか知りたがっています。
- 大多数の日本の会員は、ITCに何を期待して入会してくるのでしょうか？
- 鈴木**：最初入る時は説明を受けてもよくわからないようです。でもお誘いする方の80%が第二種兼業主婦で一何かいろいろなことをしていらっしゃる方をお誘いするわけですが一自分と同じような方々が例会で生き生きと話されて堂々としていらっしゃるの、何故かなあと、だんだん……ですから最初からみんな会の事はよくわかりません。
- ムーン**：私達は世界中の会員たちの声を聞いています。世界中の会員が一体、何を一番ITCの中で大切だと考えているかという事を。ほとんどの会員は友情と答えます。自分の所属するカウンスルやリージョンでの友情だけでなく、コンベンションにやってくる世界各国の会員と友情を培っています。私達は世界中どこに行ってもこうした友情があります。
- 鈴木**：現在日本には、多くの婦人団体があります。しかしこれは、主として職業を持った婦人の団体です。ITCは家庭の主婦にも活躍でき、且つ世界的なスケールをもった組織であるということが一番魅力あることだと思います。
- ムーン**：ITCは職業をもった人にも、家庭の主婦にも、両方が求めているものを満たすことができます。プログラムは同じですから、その使い方によっていろいろな目的に合うようにできています。
- 編集**：主婦は仕事を持った人よりも時間が多くあります。キャリアウーマンは仕事に束縛されていると思います。
- バルク**：あなたのリージョンでは、キャリアを持った人たちはどのようにして、どれくらいの回数会合を持っていらっしゃるのですか？
- ムーン**：私のリージョンの80%は職業をもった人たちです。私のクラブは月2回、2時間から2時間30分の会合を持ちます。夜8時から10時、10時30分までです。皆働いていますから、ITCは全部夜行います。仕事を持っている人によっては、時間をとることが必要です。キャリアウーマンは、タイムマネジメント(注・時間の割り振りを上手にすること)を習得する必要があると思います。仕事、遊び、ITC

家庭一勿論この順ではありません—というように時間をうまく割り振らなければなりません。このように生活の計画を立てなければ、混乱に陥ります。

バルク：オーストラリアは、リージョン、カウンスルがいくつありますか？リージョン大会は何回あって何名ぐらい出席しますか？

ムーン：オーストラリアには2つのリージョンがあります。各リージョンは、毎年1回大会を開きます。それは、丁度日本リージョン大会のように楽しみ場であり、勉強場であり、又特別の場でもあります。エデュケーションの為にゲストをお招きし、スピーチコンテストのゲストジャッジも招きます。私のリージョンでは11のカウンスルがあります。もう1つのリージョンには5つのカウンスルがあります。去年は、この二つのリージョンと一緒に、ジョイントコンフェレンスを開催いたしました。オーストラリアの建国200年、ITC50周年、オーストラリアリージョンの分割5周年の三つを祝って記念大会を開いたのです。とても楽しいものでしたが、大変ハードでもありました。この計画に2年費やし、多くの人が打ち合わせの為に来し、電話や書類が山のように出ました。今までに各リージョンは、それぞれちがったやり方で行って行っていましたので、困難もありました。お互いが少し譲りあいましたので、両方のリージョンにとってとてもよい結果となりました。

編集：会員の皆様は記念大会に対して協力的だったのですか？

ムーン：勿論です。

編集：オーストラリアでは御主人がすごく協力されるのではないのでしょうか？

ムーン：ある人は協力的ですが、全員がそうとは言えません。一部の女性は大変苦勞しています。このことは世界中どこでも同じだと思います。しかし、協力的な御主人をもった女性は目的を実現できるので幸運だと思います。

バルク：クラブの平均会員数は何名ですか？

ムーン：平均15人です。日本よりもずっと少いです。

バルク：では一人一人が大変忙しいですね。ひと月に2回会合があるわけですから、皆さん大変有能な方ばかりなのですね。

ムーン：私のクラブでは18名の会員がいます。そのうち2名が国際役員で、3名がカウンスル役員に出ていますので、その他の会員もとても一生懸命活動します。そのことは他の会員にとっても良いことです。

バルク：クラブ例会の場所はどこですか？

ムーン：多くのオーストラリアのクラブは、私のクラブもそうですが、高校の職員用の部屋を使います。会員の一部分が先生です。或いは、病院の職員用の部屋でも例会を開きます。オーストラリアでは、多くの地域の役所、市役所がコミュニティホールを建て、図書館もその中にありますので、そこでも例会を持ちます。

編集：会場費は要りますか？

ムーン：ほとんど無料ですが、私立の会場で行う場合は有料です。私のクラブでは、学校の職員用の部屋を利用していますので無料ですが、学校に寄付をしています。コーヒーや紅茶は自分達で用意します。

バルク：オーストラリアの方々はラッキーですね。ITC本部からの資料や情報は母国語である英語ですからね。日本では翻訳しなければなりません。これがとても難しいことです。資料が日本語に翻訳されるまで待たなければなりません。

ムーン：ボードが気がついていないことで、日本リージョンが苦勞していることの1つは印刷物として出版される以前に、情報が必要であるという事実です。コミュニケーターが日本に届くまで待っていては遅すぎる場合があるからです。

バルク：まったくその通りです、私達は青写真の段階の情報がほしいわけですから。例えば、コンベンション等でも、いろいろな催し物、観光等も4月にコミュニケーターが日本に届いた時点で、すでに締め切られているわけですから。

ムーン：コミュニケーターは航空便で届くのですか？

鈴木：いいえ、船便です。

ムーン：1年間1会員が\$US20払えば航空便で送って貰えますよ。

鈴木：リージョン会長と事務局長には、航空便で送ってもらっています。早く翻訳して会報に載せたいからです。

ムーン：しかし印刷前になんらかの情報が得られればもっといいわけですね。

バルク：パシフィッククーリア(注：ディビジョンVIニュースレター)に関する情報を会員に知らせていただくことも重要です。

鈴木：今年はパシフィッククーリアを全部翻訳して会長メールの中に入れました。

ムーン：ほとんどのクーリアは、役員会からでたものです。ITC会長が「これとこれはクーリアに入れねばなりません」と言うので、ディビジョン副会長はそれをクーリアに入れ、それから自分たちの希望するものを加えて入れるのです。ほとんどは会長の指示で入れます。

鈴木：本当にその内容は新しいですね。

バルク：私はその形態が本になっていていいと思います。英語がとても読み易いです。

ムーン：マネージメントの部分は役立ちますか？

鈴木：コミュニケーターよりわかり易いので、皆さんからよくお礼の手紙をいただいています。

ムーン：それは、私が今年したものです。役立っているようでしたらこれからも新しいのを続けてお使い下さい。

バルク：日本リージョンがレベルアップした秘訣は、翻訳にあると思います。沢山の資料が会員に行きわたって来ました。教育資料が翻訳されたから日本リージョンがレベルアップしたのだと思います。これが秘訣の1つだと思います。翻訳することで教育資料をどのクラブでも利用し、成長するのです。例えば、プログラムリーダーは、「プログラムリーダーとは」という資料を買って勉強するわけですから。

ムーン：会報を会員の訓練に使いますか？会報の中に例えば、「プログラムリーダーの仕方」「会員委員は何をすべきか」という記事を載せますか？各役員が何か記事を載せますか？

鈴木：はい、書いています。例えば、メンバーシップとか、資格認証とか、年間プログラム、カウンスルのプログラム、日程、クラブの交換プログラム等です。

ムーン：例えば、メンバーシップ委員長は会報に報告書を載せますか？

鈴木：報告書ではなくて、どのようにして新会員を紹介するかというようなことを書きます。

ムーン：ああそうですか。教育目的の記事を書かれるわけですね。それはとてもいい事です。私が「そうしてほしい」と言おうとしていたことです。全会員が受けとり読むわけですから。全会員が読んでくれるといいですね。

バルク：オーストラリアでも日本のような会員名簿を作成しますか？リージョンが作るのですか？カウンスルが独自に作るのではなくてですか？

ムーン：私達はちょっと違ったやり方でしています。カウンスルはカウンスルで独自の名簿を作ります。リージョンも名簿を作りますが、これには全リージョン役員、カウンスル役員、各クラブ役員と例会場所が書いてあります。

鈴木：毎年、日本リージョンは、リージョン、カウンスル役員のための名簿を作成していましたが、今期はこのような全会員の名簿を作成しました。

ムーン：そちらの方がいいですか？

鈴木：はい、とてもよいのですが、費用がかかりました。

ムーン：問題はいつも同じですね。無料で配布されたのですか？

鈴木：いいえ、1冊600円です。

バルク：では赤字ですね。何冊印刷されましたか？

鈴木：1,000冊です。会員は1,300名ですが、全員が買うわけではありませんから。

ムーン：ほとんど役員が使うだけですな。

鈴木：でも、とても役に立ちますな。

ムーン：そうですねえ。私のリージョンともう1つのオーストラリアのリージョンでは、名簿を作成した時は、2冊ずつ各カウンスルと各クラブ会長に配布しますが、日本のリージョンほど費用がかかりません。

鈴木：日本の場合は、ローマ字と日本語の両方だから余計かかるのです。

バルク：日本語は、読み方がいろいろありますので両方絶対に必要なのです。

ムーン：ああそうですか。結局日本では、2冊分印刷すると同じですね。

鈴木：各カウンスルが名簿を作成するとすると、7つの名簿が必要になります。

バルク：役員は7冊の名簿を持ってなければならない事になります。私もリージョンが会長、役員だけの名簿を作成するのは良いと思います。

鈴木：それは、毎年作るのだから、来年はバルクさんが作って下さればいいのです。

バルク：日本のITCにとって一つの問題は、50クラブ中9～10が二カ国語を使い、1つは増設中ですが—今日は英語のワークショップはルビーさんだけでした—。英語を母国語とする人にとって、日本語のワークショップは大変難しく、素晴らしいワークショップでも理解できませんので分る会員が1時間30分翻訳して、書いてあげなければなりません。5対1の割合いで英語のクラブがありますが、今回はビジネスもワークショップもルビーさん以外はすべて日本語で行われました。5～6人の英語を母国語とする参加者がありましたが、とても大変だったけれど楽しんでいたようです。でもスピーチコンテストでは通訳もありません。これらの参加者にも満足してもらえるような良い方法は何かないでしょうか？

ムーン：お話はよくわかります。ビジネスはいつも通訳がつくのですか？

バルク：はい、そうです。でも時間が限られていますので。

ムーン：私もそう思いました。他のリージョンでは、もっとビジネスに多くの時間を使います。一日中ビジネスをしていたり、必要な時は翌日の午前中も使います。

バルク：今年のリージョン大会では1日目のビジネスは、1時間もありませんでしたな。

ムーン：私はもっとビジネスの時間を増やした方がいいと思います。

鈴木：ワークショップをやっている時間に、デリゲートだけでビジネスをしてはいけませんか？

ムーン：多くのリージョンはそうしています。

鈴木 木：両方しようと思うから時間がなくなるのですね。

ムーン：これには二つの見方があります。まず一つは、デリゲートがビジネスをすればよい。もう一つは他の会員にとって同じ部屋にいなければ、ビジネスの何がどうなっているかわからない。ですから、どちらか選択しなければなりません。あるリージョンでは、ビジネスの一部はワークショップと同時に行い、例えば会則常規のような重要な部分は、全員がいる時のビジネスで行っているところもあります。

鈴木 木：もう一つ日本では、デリゲートが一般の会員がいないほうが自由に発言できると思うのです。例えば、クラブ会長やクラブの人がいて、クラブがこう決めたのに他の発言をしたとか……言われますし。議事はどんどん変わっていく場合がありますから。

編集 集：それではこの辺で……。大へん有意義なお話を伺うことができました。ありがとうございました。

(取材 編集)



1989年(平成元年)7月2日(日曜日)
中日新聞

ムーン世界副会長を迎え 名古屋でITC記念大会

第七回ITC
C日本リー
ムン年次大会
は、このほど
名古屋市中区
の全日屋観光
ホテルで約五
百人の会員が
参加して二日
間開かれた。
企画から運営
に本部を置く
際、二つある女
性「法律」や倉らによる、
子さんの「変わりつつある女
性」をテーマとし、英語と
日本語のスピーチコンテスト
も行われた。

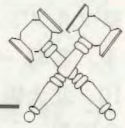
記念すべき大会で、ルビー・ムーン世界副会長(オーストラリア)を迎え、盛りだくさんの研修などで、自己啓発に努めた。ムーン副会長の「望ましい劇的效果を聞き手に与えるには、どんなことを心がけるべきか」というテーマで、ルビー・ムーン副会長のスピーチコンテストも行われた。





第七回ITC日本リージョン年次報告

Annual Report



1988～1989 リージョン書記 **鵜飼 恵津子**

日本リージョンは今期のテーマを『新たな発展へ』“Towards New Progress”とし7つのカウンスルとしての初年度を下記の目標の達成をめざして活動した。

◎今期の目標

①日本リージョン事務所、事務局の設置

事務所については、名古屋市東区葵3-25-30 ニューコーポ千種橋503号室を2年契約で賃借し使用し始めました。

リージョン役員会を6回、在名クラブの役員会、各種委員会を行った。

事務所設置にあたって1988年11月16、18日の両日ささやかなオープン・ハウスを行い会員各位に披露した。

事務局については、暫定事務局として発足し、資料部、出版部、翻訳部、特別会計の各業務を行った。

◇出版部は、新版8種、再版9種、改定11種の計28種、ITC会則(100冊)を出版した。

◇翻訳部は20名の登録した翻訳者がそれぞれ分担して10月と4月にくるオール・クラブメイリング、教育資料、コミュニケーターの翻訳を行った。

②朗読研修

朗読研修も4年目に入り東京地区、名古屋地区、阪神地区に加え山陽地区、山陰地区も独自の方法で研修を開始した。名古屋地区は前年に引き続き老人専門病院で朗読奉仕を実施している。

阪神地区は「朗読ボランティア・グループ」に加入して、社会還元への一歩を踏み出した。

③クラブ増設強化—1990年までに50クラブに一

今期は下記の3クラブが増設され1989年に目標の50クラブを達成した。

1. サタディ・クラブ # 3423
2. 境クラブ # 3435
3. 米子マンディ・クラブ # 3436

◎その他の常任委員会の活動

◇資格認証

今期の資格認証修得者は下記のとおりである。

コースⅠ—236名 コースⅡ—44名 コースⅢ—10名 コースⅣ—1名

一位 名古屋クラブ、神戸クラブ(50ポイント) 二位 鳥取クラブ(41ポイント)

三位 関西クラブ(34ポイント)

◇会員委員会

カウンスルNo.1 346 カウンスルNo.2 164 カウンスルNo.3 148 カウンスルNo.4 165
 カウンスルNo.5 155 カウンスルNo.6 168 カウンスルNo.7 168

合計50クラブ 1,314名(5 / 31現在)

※フルメンバー・クラブ

1. 名城 2. 柏 3. 阪神 4. E・神戸 5. 甲南 6. 姫路 7. 福山 8. 岡山 9. 大阪
10. 北大阪 11. 南大阪 12. 都 13. 鳥取 14. 倉吉

計14クラブ

◇広報

1. 事務局設立基金募集の標語を募ったところ、188篇が寄せられ上位3点がリージョン大会で表彰される。
2. ITCの活動内容をよりよく理解してもらうため他の団体、ロータリー、JC等に働きかけて卓話に参加する機会を得てITCのPRをおこなった。鈴木リージョン会長は、刈谷ロータリーで、平瀬広報委員長は、安城ロータリーで卓話を行い共に謝礼金を頂戴し事務局基金に寄付した。
3. リーフレット3千枚を2万円で作成し各カウンスルに発送し広報と増設活動に役立てた。

◇ITC基金——2,959\$42C

◇事務局設立基金——1,058,131円

昨年に引き続き 88年11月30日(木)京都パーク・ホテルにおいて、CMTを開催した。

カウンスルNo.4を除く全カウンスル役員等が出席しリージョン役員とともに質疑応答の時間を持ち疑問点の解決の一助とした。

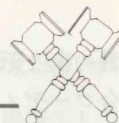
また 89年6月6日(火)名古屋観光ホテルにおいて、公式訪問役員Ruby Moon, Vice President Div. VIを迎えRMT CMTを開催した。各レベルの現役員、次期役員その他が出席し次年度へ備えての活動を開始した。

1989年6月7日





カウンスル年次報告



カウンスルNo 1

カウンスルNo.1 会長 鈴木美枝子

会員の皆様の御協力、御奉仕により第7回リージョン大会ホステスカウンスルの任務を無事果たすことができました。No.1は昨年度7月に認証された東葛を加え、所属クラブが14になりましたので、分割の時期と方法を全会員が納得できるまで討議し、1990年8月1日に関東と中部の2地区に分かれる事を決議しました。新会員30名、退会8名、総数349名、20名以下のクラブは3つから1つに減りました。会員委員会は「ITCに関するアンケート」を行いました。

今年度の新しい試みとして、派遣員への説明会を止めてビジネスを早く始め、円卓形式で行うことにより意見交換の場としてのカウンスルを目指しました。またプログラムを午前と午後とに行い、忙しい中、また遠隔地からの参加者に充実した時間を過ごすべく努めました。主なものとして、年度テーマ「ベター・コミュニケーション」での聖心会シスター尾高さんによる基調講演とワークショップ、「ビートルズ」の統一テーマでのプログラム、NHK日本語センター河路アナウンサーによるインタビューとディスカッションについてのワークショップを行いました。

カウンスルNo 2

カウンスルNo.2 会長 泉 和子

概況 前年度役員会の意向を引き継ぎ日英両国語の事務会議・プログラムを行いベテラン、新人併せて多くのメンバーがアサインメントを受け自己啓発した。

役員会報告 a) 新メンバーの為に勉強会を開催した。
b) 各役員、各委員会の保存物所有物のリストを作り、それらの存在を明らかにした。

クラブ数 6クラブ 会員数 163名 (4月22日現在)

例会プログラム内容 シンポジウム、ワークショップ、スピーチコンテスト、講演等。

スピーチコンテスト 英語 一位 八木玲子 二位 Dona 立木
日本語 一位 横山幸子 二位 伊地知加代子

編集 ニュースレターを4回発行した。

会則 会則検討会をOpen Meetingにして開催し、新会則を作成し完成させた。

増設 神戸市御影近辺に日英両国語使用のクラブを増設中。

広報 テレビ、広報新聞等に報道掲載依頼、実施済。

資格認証取得者 コース1 —— 3名 コース3 —— 1名

カウンスルNo 3

カウンスルNo.3 会長 置 塩 啓子

分離後の新しいカウンスルNo.3は、6クラブ138名で出発し、現在150名になりました。昨年度末にとったアンケートにもとづき、例会プログラムは会員がひとりでも多く参加できるものを計画しました。第1回は役員研修とワークショップ(“ディスカッションあれこれ”と“トピックスABC”)、第2回はクラブ対抗ディベート、第3回はスピーチコンテストと議事法ワークショップ、そして第4回はグループディスカッション(サーキュラーリスボンとプレーンストーミング)です。4回の例会のほか新入会員を対象にしたオリエンテーションには、対象者40名のうち24名が出席、動議を修正するワークショップをしました。7月19日には次年度のクラブ役員と常任委員長のためのクラブ運営研修を持ちます。

第1回例会で新しい会則を採択し、11月末全員に無料配布しました。ニュースレターは年4回発行し、これも全員に無料配布しています。予定外の臨時増刊号も作成中です。新しいクラブに会員

数の少ないクラブが多いので、カウンスル例会のホステスクラブの代わりに、常任委員会として会合コーディネーティング委員会をつくり、例会の準備や会場設営をしてもらいました。その分、新しい会員にはカウンスル例会のプログラムにゆっくりした気持ちで参加してもらえたと思っています。

カウンスルNo 4

カウンスルNo.4 会長 桑原美紀子

新クラブの多いNo.4としては、この一年を道づくりに徹しました。どんな道路に整備できたか大変気になる所です。それでは年次報告をいたします。

①教育について — 各クラブでは、議事法を中心とした教育に重点をおきましたので、最近ビジネスの進行が大変スムーズになりました。また客観性を身につける学習“ディベート”もスピーチの教育に役立ったと思います。②増設について — 遠隔地をかかえたカウンスルとして悩んでいる時、リージョンより九州方面にもう一つクラブを増設するとカウンスルを分割することが出来るとの指導を受けました。しかしやっと安芸、大分の新クラブが誕生したばかりでしたので、この一年は、大分方面に増設の広報活動を行うことのみで致しました。③カウンスル例会について — 毎回場所を変えましたので、会員の出席を心配しましたが、予想外の出席(平均90名余り)があり、例会に対する評価も建設的であり、他クラブとの交流の中で多くのものを学ばれました。

会長のテーマであった学習したことを生活の中で実践してゆく事が成果をあげ、仲間意識が一段と深まったと自信をもって報告できることは、大変光栄です。

カウンスルNo 5

カウンスルNo.5 会長 早川住江

新しいカウンスルになって、6クラブのうち3クラブがチャーター2年目という構成になりましたので、今年度はまずメンバー相互のコミュニケーションに重点をおきました。カウンスル例会のプログラムにもクラブ自己紹介、クラブのベストプログラム紹介を組んで、全てのクラブから多くのメンバーが参加出来るように配慮しました。

年間テーマ「基礎を踏まえて……」は各々がITCの学習や訓練において基礎固めをしっかりと、その上で事務の簡素化をはかり、仕事をもっていてもITCと両立出来るように時間の有効利用を身につける事を心がけました。

増設委員会では大阪の北部で、3月より毎月一回説明会を開催して、次年度には新しくクラブが誕生する見通しになっております。

カウンスルNo 6

カウンスルNo.6 会長 藤原文子

今期5クラブ133名で出発したNo.6も、6クラブ169名となり所属クラブ平均最多会員数カウンスルとして表彰を受けた。No.6第1期として先ず会員相互の親睦をはかり、カウンスルに親近感を持って参加して頂ける事に留意した。若い会員も多くなり職業、子供の帰宅時間など考慮し、例会開会を30分早め閉会を30分繰り上げた。第1回例会では各クラブの紹介を、それぞれのアイデアで演じて頂き好評且つ親睦を深めた。第2回は評価のワークショップ(講師桑原美紀子No.4会長)と研修会。第3回のスピーチコンテストは日本語5名、英語2名の出席者で外部の審査員に、又講演者として米国在住の芥川賞作家、米谷ふみ子氏を迎えた。第4回では所属クラブ全部を表彰することにした。サンデークラブは学業、職業を持ちながら土曜の夕方例会を持つ意欲に対して、北摂クラブは17名の会員数が現在26名と飛躍的な発展に対して、奈良クラブは日英両部門にスピーチコンテスト参加と云う熱意に対して、などなど各クラブそれぞれの努力を称えたいと思っている。又本年十周年を祝った京都クラブを先頭に、平安、都と毎年十年クラブが続きます。大きな期待と充実感を持って年次報告と致します。

1. カウンスルNo.7は1987年12月16日付で日本リージョンより、No.2から分割認可を得誕生した。鳥取、米子、松江、倉吉の4クラブが配属された。2. カウンスル役員会は、1989年6月16日まで、8回の会合を持ち、所定の手続を完了して制定された会則、常規の定めるところに従い、目標を設定し、カウンスルに関わる事項を遂行した。3. 年間目標は ㊦、クラブ格差の縮小 ㊧、サービスマンローの設置と運営 ㊨、カウンスルとクラブのコミュニケーションの強化 ㊩、クラブ増設 ㊪、広報活動の活性化とした。4. カウンスル会合は、鳥取、米子、松江、倉吉のクラブ所在地に於て4回開催、出席率は82%に達した。5. 広報委員会は、独自の広報リーフレットを作製し広報に活用した。6. 会員状況、鳥取30米子29松江28倉吉30境24米子マンディ27名で●クラブ 168名である。7. 増設は、境、米子マンディの2クラブである。8. 朗読研修はカウンスル内の有志で目下活発に研修中である。9. 年間3回の献品バザールにより約16万円の収益金をあげた。10. リージョン大会に於いて、最多増設、最多会員数保持カウンスルとして表彰をうけた。

哀 悼

～吉村寮子さんを偲んで～



ありし日の吉村寮子さん

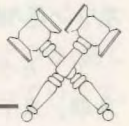
奈良クラブ会長 当 麻 幹 子

寮子さん 正義と責任感に満ち溢れ、ITC奈良クラブのメンバーとして、献身的な活動をなさいました。はじめてのリージョン大会で、エンターテイメントとしてのファッションショーでは、緋の野良着に菅傘姿で可憐な少女を演じ、自作の取りたての野菜を腰につけた籠から取り出して、観衆に振る舞い、拍手喝采を浴びられましたね。大農家の主婦であり、地域社会のリーダーとしても、充分にその責任を果たされて、でも51才という若さであなたは逝ってしまわれました。奈良クラブ6年の歴史に、貴女の夢と、しっかりと歩まれた足跡が残されています。あなたの瞳の輝き、明るい笑い声、説得力のあるスピーチ、訓練されたリーダーシップは私達を魅了し、時には大和方言がぼろっと出て、例会の緊張が弛みました。思い出はいっぱいです。

寮子さん あなたの声と笑顔に出会った人なら、誰でもあなたを忘れることはありません。



日本リージョン会則修正 Amendment of Japan Region Bylaws



日本リージョン会則及び常規は、第7回日本リージョン大会で下記のように修正され、1989年8月1日より有効となります。

1. 日本リージョン会則 第6条 任命役員

B項 任命役員の任務：

1. 議会法規役員は

- a. 要請に応じてリージョン会長に議事進行方法について助言する。
- b. リージョン役員会の要請がある場合には役員会に出席する。
- c. リージョン大会に出席する。
- d. ITC本部が毎年、年度はじめに発行する全レベルの標準会則を前年度のと比べ、変更箇所をリージョン会報に掲載する。
- e. 役員会の要請に応じ他の任務を果たす。

2. リージョン会則 第9条 委員会とその任務

B項 常任委員会の任務：

4. 会則・決議：会則・決議委員会は

- a. クラブ、カウンスル、リージョン常任委員会及びリージョン役員会に決議案と修正案提出を要請し、且つ2月1日までに受領する。
- b. 同様決議案と修正案を統合する。
- c. 大会60日前までにリージョン役員会とメンバークラブに決議案と修正案を提出する。
- d. 提出された決議案と修正案すべてを大会で提出する。
- e. リージョン書記及び議会法規役員と共に採択された改正を確認し、修正された会則及び常規を編集する。

3. 日本リージョン常規

2. 年会費：年会費は会員1名につき4000円とし、年4回発行されるリージョン会報代及びITC日本事務局運営費を含むもので、8月1日またはそれ以前にクラブによって支払われるものとする。3月1日またはそれ以後入会した会員は年会費の半額を支払う。6月1日以後7月31日までに入会した会員は次年度の会費を納めるが、その年度の会報は実費とする。

4. 日本リージョン常規

7. ITC日本事務局：日本における事務局の所在地は名古屋とする。
 - a. 事務所は名古屋市東区葵3丁目25-20 ニューコーポ種橋503号を賃借する。
 - b. 構成は事務局長1名、会計1名、他に事務処理のための専従者を置くことができる。
 - c. 事務局長はリージョン役員会の承認を得て会長により任命される。任期は1年間とする。但し継続して任命されることができる。
 - d. 事務局長は必要に応じてリージョン役員会に出席することができる。
 - e. 日本リージョンはITC日本事務局に、基金会計の管理及び次の業務を委託する。
 - 1) 教育資料及び物品の管理、販売
 - 2) 出版
 - 3) 翻訳

4) ITC特別会計

- (1) クラブの要請に応じてITC本部への送金及び送金に伴う書類の処理をし、毎年7月にITC年会費を取扱う。
 - (2) 1985—86年度ITC国際役員会の認可に基づき、入会金10ドルの内5ドルを日本語教育マニュアルの印刷費として事務局口座に積立てる。
 - (3) 毎月ITC資料の注文を扱う。
- f. 事務局会計は事務局口座を設け、管理する。
- g. 運営費は、日本リージョン通常会計からまかなわれる。
- h. 各業務は日本リージョン資料役員、出版委員長、翻訳委員長、ITC特別会計が代行する。

5. 下記の決議が採択されました。

決議

ITC日本リージョンでは組織の拡大に伴い、資料・物品の管理・販売、出版、翻訳及び、ITC本部への会費、資料・物品購入の送金手続きを代行する特別会計の業務が増大したがゆえに：

そして、事務の増加に伴い単純作業が増大したがゆえに：

そして、資料の保管、荷作り、発送及び管理が必要であるがゆえに：

よって、日本におけるITCの発展のため日本事務局と事務所を設置することを決議する。

日本リージョン会則・決議委員長 小林 令

JAPAN REGIONAL BYLAWS and STANDING RULES were amended at the JAPAN Region 7th Annual Conference as follows.

1. JAPAN REGION BYLAWS

ARTICLE VI. APPOINTED OFFICERS

SECTION B. DUTIES OF APPOINTED OFFICERS.

1. The parliamentarian shall :

- a. Advise the regional president on parliamentary procedure when requested.
- b. Attend in-person board meetings if requested by the regional board.
- c. Attend the regional conference.
- d. Be responsible for printing in the Regional Bulletin changes at all levels of Standard Bylaws published by ITC headquarters at the beginning of each term.
- e. Perform such other duties as may be requested by the regional board.

2. JAPAN REGION BYLAWS

ARTICLE IX. COMMITTEES AND THEIR DUTIES

SECTION B. DUTIES OF STANDING COMMITTEES.

4. Bylaws and Resolutions. The bylaws and resolutions committee shall :

- a. Request and receive resolutions and amendments to the regional bylaws and standing rules, to be submitted no later than February 1, by member clubs, councils, regional standing committees, and the regional board of directors.
- b. Coordinate similar resolutions and amendments.
- c. Submit all coordinated resolutions and amendments to the regional board of directors and member clubs no later than sixty (60) days prior to the conference.
- d. Present all proposed resolutions and amendments to the conference.
- e. Verify with the regional secretary and parliamentarian the changes adopted at the confer-

ence : edit bylaws and standing rules as amended.

3 . JAPAN REGION STANDING RULES

2 . ANNUAL DUES.

Annual dues shall be ¥4000 per member that covers the cost of the region magazine issued four (4) times annually and the operation expenses for the ITC Japan Administrative Office, payable by clubs on or before August 1. Members joining on or after March 1 shall pay half the amount of annual dues. Members joining from June 1 to July 31 shall pay annual dues for the next fiscal year, but pay actual cost for the region magazine for that year.

4 . JAPAN REGION STANDING RULES

7 . ITC JAPAN ADMINISTRATIVE OFFICE : The office shall be located in Nagoya city.

- a . The office shall be leased at #503 New Corpo Chikusabashi, 25-20, 3 chome Aoi Higashi-ku, NAGOYA.
- b . The composition of the staff shall be an administrative director, a treasurer and clerks who may be hired for handling clerical work.
- c . The Administrative Director shall be appointed by the Region President with the approval of the board. The term shall be for one year but may be appointed for consecutive years.
- d . The Administrative Director may attend the Regional board meetings when necessary.
- e . The Japan Region shall consign the Japan Region Fund Account and its administration and the following functions to be conducted by the ITC Japan Administration Office.
 - 1) Management and sales of educational materials and supplies
 - 2) Publications
 - 3) Translation
 - 4) ITC Special Account — Which shall :
 - a) Process the ITC annual dues as requested by member clubs in July of each year.
 - b) Retain five dollars (\$5.00) of the ten dollar (\$10.00) new member fee for the purpose of printing Education Manuals in Japanese, in compliance with the permission granted by the 1985-86 ITC Board.
 - c) Process orders to Headquarters for ITC materials once every month.
- f . The Treasurer of the Administrative Office shall open an account for the Administrative Office funds and shall have responsibility for it.
- g . Operation expenses shall be provided from the Japan Region General Fund.
- h . The above (e) functions shall be executed by the Japan Region Supply Officer, Publication Committee Chairman, Translation Committee Chairman and ITC Special Accountant as substitutes.

RESOLUTION

WHEREAS,

With the expansion of the organization of ITC Japan Region, there is a great increase in the business operation concerning management and sales of supplies and materials, publication, translation and also the execution of remittance of membership fees and orders for materials and supplies to the ITC Headquarters by the ITC Special Accountant : and

WHEREAS,

Routine business procedures have greatly multiplied : and

WHEREAS,

A place for storage, packing, dispatching and management of supplies is considered necessary : therefore,

RESOLVED,

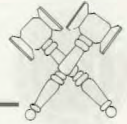
That an ITC Japan Administrative Office and an office be established for the development of ITC in Japan.

Rei Kobayashi

Japan Region Bylaws and Resolution Committee Chairman



スピーチコンテスト優勝者スピーチ Winners' Speeches



The First Place Speech in English

Subject : Watching
Title : Close our eyes

Yoko Kawasaki, Nishiki Club Council No.1

When we watch things, we perceive them variously, according to the circumstances & situations we confront. Many psychiatrists demonstrated this experiments as follows, suppose gangsters suddenly come out, and after that if we are asked to describe them, we won't be able to answer them in detail, but just

general details of what they did, & what they had on. This is a special case but it is a good example of our lack of perception. Another example is that when we watch things in the dead-dark, we open our eyes as large as possible to try to get something even though we can't see it. On the contrary, when we read braille, we close our eyes and put on our whole concentration into our fingers, we can picture something in our mind. This is also an interesting feature of watching. When we watch the completion of Seto-Ohashi Bridge, a supervisor of construction work was interviewed and he almost beamed with the greatest joy, even wept. When we read the news of it, we just receive it superficially as quite a common thing, but when we watch it closely, we can know how the constructions is splendid. There are many people who channel all their energy into one specific thing during their life, like Newton, who discovered gravitation by watching apples falling off the trees; Edison, electricity by watching thunder. And astronomers' discovery of new comets by watching stars carefully. Thus we perceive things differently, however, sometimes we are apt to catch things superficially, catch them only compact and convenient, watch them through judging unconsciously.

Having an eye for detail a memory for the physical characteristics of people, landscapes or events is not the essence of seeing. To expand our vision and see things as they really are is very important.

Close our eyes and then the images that come to mind would be without preconceptions. This is the true essence of watching. Close our eyes and watch things as they really are !

英語の部第1位

論題：ウォッチング 題目：目を閉じて下さい カウンシルNo.1 錦クラブ 川崎瑤子

私たちは物を見る時には、状況に応じてさまざまな見方をします。たとえば、突然ギャングが私達の目の前に現われたとしますと、その犯人像というのは、多くの場合、そのギャングの持っていたもの、何をしたかという事は覚えていますが、くわしい人相までとなると十分に把握していないという実例を多くの心理学者があげています。これは特殊な例ですが人間の物の見方の欠落を表わしているおもしろい例ですね。又、まっ暗な中で何かを探そうとする時には私たちは目を大きく開けてみたり、逆に点字を読む時には、目をとじてすべての神経を指先に集中させると、心の中で何かが読めるでしょう。これもおもしろい見方ですね。先日テレビで瀬戸大橋完成のニュースを見ました。工事現場監督の感無量な姿を見て、ただそのニュースをきくだけではあたりまえにとっしてまいがちですが、よく見ることによって橋の完成がいかに大変なものであったかということがわかります。又ふだん何気ないようなものでもそれをよく見ることによって大きな発見をすることがあります。ニュートンはりんごが木から落ちるのを見て引力を、エジソンはかみなりを、天文学者が星を注意深く観察することによって新しいすい星を発見しました。このように私たちはさまざまな物の見方をします。その見方も環境・状況に応じて変わりますが、時として私たちは物を表面的にとらえたり又、都合よく、無意識に判断を通して見がちです。見るということは、その人物(人、景色、出来事)の詳細を言うのではなく物の本来の姿を直視して視野を広げるといふ事だと思ひます。それは、偏見や先入観をもったものではないものです。これが私にとって見るという事です。目をとじて、ありのままの姿を見つめましょう。



スピーチコンテスト優勝者スピーチ Winners' Speeches



日本語の部 第1位

論題：心の時代

題目：寅さんとかけそば

カウンセルNo.1 東京クラブ 岩佐圭子

私、生まれも育ちも葛飾柴又、帝釈天で産湯をつかい、姓は車、名は寅次郎、人呼んでフーテンの寅と発します。と言え、皆様ご存知、渥美清演じるころの映画、「男はつらいよ」の寅さんです。今年5月の連休にかけて、これまでの寅さん映画全40本がいっせいに上映され、劇場によっては新記録を出すほどの入りでした。もともと日本人には大変人気のある映画ですが、それにしても、この寅さんブームには、それだけでは説明のつかない何かがあるように思います。

最近の世の中、余りにもお金と技術に重きをおき過ぎていないでしょうか。お金が総てに優先するといった風潮が横行し、その結果、嫌な事件が続いています。また、技術革新のお蔭で私達の生活は便利になりましたが、その反面、コンピューターに囲まれた暮らしは無味乾燥で、時には妙に人恋しさを覚えます。こうした世相だからこそ、お金にも技術にも縁のない寅さんの人情の世界でホッとした気分になりたい人が増えているのでしょうか。寅さんがふりまく笑いの中に、私達の胸をジーンとうつつ心が伝わってきます。

どんなに経済的に豊かになっても、心が貧しければ、私達は決して豊かな暮らしを送ることはできません。それどころか、物質的に豊かになればなるほど、かえって、心のふれあいを求めるのではないのでしょうか。心の世界といえば、先頃、話題になっている童話に一杯のかけそばというのがあります。大みそかの日にたった一杯のかけそばを注文した貧しい親子三人連れに対するおそばやさんの暖かい思いやりを描いた作品です。

「ありがとうございます。どうかよいお年を！」と、おそばやさんが帰りがけの親子にかけた声がとても大きくて、「負けるなよ！がんばるんだよ！」って男の子には聞こえたんだそうです。そしてその通り、交通事故で急死したお父さんが残した借金を返すために一生懸命働くお母さんを助けて、2人の男の子が立派に成人するという話です。

確かに感動的な話です。しかし、私のように、昔の日本、まだ貧しかった戦前と戦後の日本を知る者にとっては、遠い昔、どこかで聞いたような、或るいは読んだ話に似ているように思えます。この豊かな時代に一杯のかけそばの話がこれだけでもはやされるのは、豊かさの陰で、私達が見失ってしまった暖かい心に郷愁を覚えるからだと思います。

「おいさん、おばちゃん、元気かい、さくらどうしてる」と、旅から戻って一声かけるとたちまち開ける寅さんの世界と一杯のかけそばは、一見何の脈絡もありませんが、この二つの作品に流れる精神は同じ、心のふれあいの尊さです。私は最近寅さんの映画をみて、一杯のかけそばを読んで、私達が今日いかに思いやりの心に飢えているか、言い換えれば、今私達が一番求めているものは心であるということに改めて思い知らされました。

おめでとうございます



リーダーの後藤俐奈さん



英語の部第2位

Naoko Yano Council No.3 Nishinomiya Club

Subject : Cross-Cultural Encounters

Title : Foreign Languages and Soft Hearts

日本語の部第2位

菊池陽子 カウンシルNo.4 大分クラブ

論題：再会

題目：レモンの香りとじゃがいもの花



1989年5月22日現在

カウンスルNo.1

- ①名古屋クラブ コース1 取得者数18名、コース2 取得者数10名、コース3 取得者数4名、計50点
- ②葵クラブ コース1 取得者数13名、コース2 取得者数1名、コース3 取得者数1名、計18点
- ③東京クラブ 未到着
- ④錦クラブ 未到着
- ⑤栄クラブ 未到着
- ⑥筑波クラブ コース1 取得者数5名、計5点
- ⑦青山クラブ コース1 取得者数6名、コース2 取得者数6名、計18点
- ⑧名城クラブ 未到着
- ⑨東山クラブ 該当者なし
- ⑩柏クラブ コース1 取得者数1名、計1点
- ⑪浜松クラブ 該当者なし
- ⑫千葉クラブ 該当者なし
- ⑬サンディクラブ コース1 取得者数3名、計3点
- ⑭東葛クラブ 未到着

カウンスルNo.2

- ①阪神クラブ コース1 取得者数10名、コース2 取得者数2名、コース3 取得者数1名、計17点
- ②神戸クラブ コース1 取得者数14名、コース2 取得者数10名、コース3 取得者数4名、コース4 取得者数1名、計50点
- ③イースト神戸クラブ 該当者なし
- ④甲南クラブ 該当者なし
- ⑤六甲クラブ コース1 取得者数13名、計13点
- ⑥宝塚クラブ コース1 取得者数1名、計1点

カウンスルNo.3

- ①関西クラブ コース1 取得者数17名、コース2 取得者数7名、コース3 取得者数1名、計34点
- ②芦屋クラブ 未到着
- ③西宮クラブ コース1 取得者数7名、計7点
- ④姫路クラブ 未到着
- ⑤尼崎クラブ コース1 取得者数4名、計4名
- ⑥舞子クラブ 未到着

カウンスルNo.4

- ①九州クラブ コース1 取得者数3名、計3点
- ②ひろしまクラブ 未到着
- ③福山クラブ 未到着
- ④岡山クラブ 未到着
- ⑤安芸クラブ 未到着
- ⑥大分クラブ 未到着

カウンスルNo 5

- ①大阪クラブ・・・コース1 取得者数21名、計21点
- ②北大阪クラブ・・・コース1 取得者数10名、計10点
- ③豊中クラブ・・・該当者なし
- ④南大阪クラブ・・・該当者なし
- ⑤城北クラブ・・・該当者なし
- ⑥梅田クラブ・・・該当者なし

カウンスルNo 6

- ①京都クラブ・・・コース1 取得者数1名、計1点
- ②平安クラブ・・・コース1 取得者数20名、計20点
- ③都クラブ・・・未到着
- ④奈良クラブ・・・未到着
- ⑤北摂クラブ・・・該当者なし
- ⑥サタディクラブ・・・

カウンスルNo 7

- ①鳥取クラブ・・・コース1 取得者数25名、コース2 取得者数8名、計41点
- ②米子クラブ・・・コース1 取得者数25名、計25点
- ③松江クラブ・・・未到着
- ④倉吉クラブ・・・未到着
- ⑤境クラブ・・・
- ⑥米子マンディクラブ・・・

「やれば誰でも出来るア krediteーション」をモットーとして始めた47のクラブ中20クラブが挑戦し、次の結果が出ました。

1. 名古屋 Nagoya	50ポイント	(コース1 — 18人) (コース2 — 10人) (コース3 — 4人)
神戸 Kobe	50ポイント	(コース1 — 14人) (コース2 — 10人) (コース3 — 4人) (コース4 — 1人)
2. 鳥取 Tottori	41ポイント	(コース1 — 25人) (コース2 — 8人)
3. 関西 Kansai	34ポイント	(コース1 — 17人) (コース2 — 7人) (コース3 — 1人)

この様に、良くがんばりました。おめでとうございます。どのクラブでも25点は出来る様に来年もがんばりましょう。「私でも出来る」ア krediteーション!!

1988—89年 資格認証委員長 バルク良子

Forty seven clubs started the accreditation program with the motto, "You can do it if you try."

Out of 47 clubs 20 accumulated accreditation points.

Congratulations! Let's try again, "I can do it if I try accreditation!!"

Yoshiko Burk, 1988—1989, accreditation Chairman

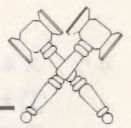
P.S. To stimulate improvement of members' skills, the Accreditation of each club should report credit to the council three times a year. Council chairmen will report Region chr. each time.

(By Nov. 20, Feb. 20, and May 20.)

会員の資質を向上するため各クラブの委員長は年三回カウンスルの委員長に現状を報告しリージョンの委員長が6月に表彰する事を提唱します。(11月20日、2月20日、5月20日)バルク良子



ITC基金の報告



基金委員長 三宮晶子

ITC \$ 2 per member Fund (¥300)

Council No. 1

名古屋クラブ	¥	7,200
葵クラブ	¥	9,400
東京クラブ	¥	7,200
錦クラブ	¥	7,200
米クラブ	¥	5,700
筑波クラブ	¥	7,800
青山クラブ	¥	6,000
名城クラブ	¥	8,700
東山クラブ	¥	8,100
柏クラブ	¥	9,000
浜松クラブ	¥	6,000
千葉クラブ	¥	7,200
サンディクラブ	¥	6,900
東葛クラブ	¥	4,200
計	¥	99,600

Council No. 2

阪神クラブ	¥	10,000
甲南クラブ	¥	9,000
神戸クラブ	¥	7,800
E.神戸クラブ	¥	8,700
六甲クラブ	¥	8,700
宝塚クラブ	¥	5,700
計	¥	49,900

終身会員 1名 \$200

50/50 1名 \$ 50

インナーサークルピン

1名 \$100

送金 5月16日 1989

U.S. \$284942 送金 (\$ 100—¥13780)

5月30日

U.S. \$ 11000 送金 (\$ 100—¥14410)

送金手数量 5月16日 ¥2,500

5月30日 ¥1,000

荷物送料(5kg) ¥6,900

送金合計 U.S. \$2,95942

Council No. 3

関西クラブ	¥	9,000
芦屋クラブ	¥	7,000
西宮クラブ	¥	6,900
姫路クラブ	¥	10,000
尼崎クラブ	¥	6,900
舞子クラブ	¥	5,400
計	¥	45,200

Council No. 4

岡山クラブ	¥	9,000
福山クラブ	¥	9,000
ひろしまクラブ	¥	9,000
安芸クラブ	¥	7,800
九州クラブ	¥	8,100
大分クラブ	¥	6,900
計	¥	49,800

Council No. 5

大阪クラブ	¥	9,000
北大阪クラブ	¥	9,000
豊中クラブ	¥	6,000
南大阪クラブ	¥	9,000
城北クラブ	¥	6,000
梅田クラブ	¥	6,900
計	¥	45,900

Evelyn Oberlein (阪神クラブ)

三宮晶子 (阪神クラブ)

山下慧理香 (京都クラブ) 別途

Council No. 6

京都クラブ	¥	7,800
平安クラブ	¥	8,700
都クラブ	¥	9,000
奈良クラブ	¥	8,700
北摂クラブ	¥	6,000
サタデークラブ	¥	6,900
計	¥	47,100

Council No. 7

鳥取クラブ	¥	9,000
米子クラブ	¥	8,700
松江クラブ	¥	9,000
倉吉クラブ	¥	9,000
米子マンデークラブ	¥	8,100
境クラブ	¥	7,200
計	¥	45,000

総合計 ¥ 388,500

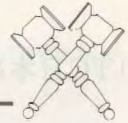


"Christmas in July"

ご寄贈下さいました物品は一部を大会出席者に托し、他は郵便で送付いたしました。ラスベガス大会で販売、売上金はITC基金になります。



ITC 日本事務局基金報告



ITC日本事務局基金の為に広くメンバーの皆様の寄付をお願い致しますのは初めての事でございましたので、どの程度その主旨にご賛同を得、ご協力を頂けるのか、当初不安でございました。会員のみなさまには色々ご意見がごありの事と存じますが、徐々に基金に対するご理解を得る事が出来たのは本当に嬉しく感謝しております。会員よりのご寄付は50クラブから、1,308,042円をお寄せ下さいました。又大会中に販売いたしました虹染、リボン等の利益が294,200円となり、合計1,600,692円(必要経費1,550円引き)を事務局基金に入れさせて頂きます事をご報告申し上げます。

この初めての事業にご参加下さいました方々、又格別の御支援を賜りました方々に心より御礼を申し上げますと共に、日本のITCが将来、より充実して大きく「飛翔」いたします為にITC日本事務局の基金として有効に使われますことを願っております。

皆様の暖かいご援助、ご協力に一同厚く御礼申し上げます。どうも有難うございました。

ITC日本事務局基金寄付金(クラブ別 5,000円以上を含む)

Council No. 1		Council No. 3		Council No. 6	
名古屋クラブ	¥ 98,500	関西クラブ	¥ 38,695	京都クラブ	¥ 100,000
葵クラブ	¥ 31,000	芦屋クラブ	¥ 15,000	〃クラブ	¥ 44,100
東京クラブ	¥ 10,000	西宮クラブ	¥ 2,000	平安クラブ	¥ 37,500
錦クラブ	¥ 48,500	姫路クラブ	¥ 33,900	都クラブ	¥ 18,000
栄クラブ	¥ 8,610	尼崎クラブ	¥ 46,000	奈良クラブ	¥ 29,000
筑波クラブ	¥ 13,000	舞子クラブ	¥ 15,700	北摂クラブ	¥ 10,000
青山クラブ	¥ 6,000	計	¥ 151,295	サタデークラブ	¥ 8,000
名城クラブ	¥ 15,500			計	¥ 246,600
東山クラブ	¥ 20,816	Council No. 4		Council No. 7	
柏クラブ	¥ 11,500	九州クラブ	¥ 10,000	鳥取クラブ	¥ 42,080
浜松クラブ	¥ 10,000	ひろしまクラブ	¥ 14,400	米子クラブ	¥ 42,800
千葉クラブ	¥ 10,000	福山クラブ	¥ 14,500	松江クラブ	¥ 22,100
サンデイクラブ	¥ 12,500	岡山クラブ	¥ 25,000	倉吉クラブ	¥ 20,000
東葛クラブ	¥ 3,500	安芸クラブ	¥ 13,000	米子マンデークラブ	¥ 50,000
計	¥ 289,426	大分クラブ	¥ 3,200	境クラブ	¥ 20,000
		計	¥ 80,100	No. 7	¥ 26,331
Council No. 2		Council No. 5		計	¥ 223,311
阪神クラブ	¥ 70,200	大阪クラブ	¥ 105,000	合計	¥ 1,308,042
神戸クラブ	¥ 15,000	北大阪クラブ	¥ 25,000	物品売上金よりの寄付金	
E.神戸クラブ	¥ 6,000	豊中クラブ	¥ 10,000	虹屋	¥ 100,000
甲南クラブ	¥ 11,610	南大阪クラブ	¥ 20,000	リージョン広報委員会	
六甲クラブ	¥ 13,000	城北クラブ	¥ 7,000	平安クラブ	¥ 190,000
宝塚クラブ	¥ 5,000	梅田クラブ	¥ 16,500	(マジックリボン)	
計	¥ 120,810	計	¥ 186,500	Council No. 4	¥ 4,200
				(名刺)	
				合計	¥ 294,200
				必要経費	
				振替金	¥ 1,550
				総合計	¥ 1,600,692

ITC日本事務局基金寄付者名簿(5,000円以上)

鈴木鋼一	¥10,000	名古屋クラブ	白江圭穎子	¥ 5,000	芦屋クラブ
鈴木宏子	¥20,000	〃	小池和子	¥ 5,000	〃
林節子	¥10,000	〃	永井千賀子	¥ 5,000	姫路クラブ
増田はるえ	¥10,000	〃	江尻三千代	¥10,000	〃
新木昌子	¥ 5,000	〃	亀井トメ子	¥ 5,000	尼崎クラブ
八代ふゆ子	¥ 5,000	〃	石田忍	¥ 5,000	〃
村上令子	¥ 5,000	〃	橋本五代	¥ 5,000	〃
鵜飼恵津子	¥ 5,000	〃	小橋節子	¥ 5,000	〃
高柳恭子	¥ 5,000	〃	伊藤温子	¥ 5,000	〃
盛田純子	¥ 5,000	〃	末包敏子	¥ 5,000	舞子クラブ
沢田礼子	¥ 5,000	〃	黒住千鶴子	¥10,000	岡山クラブ
田中あさ子	¥ 5,000	〃	中馬弘	¥10,000	大阪クラブ
星野佐登	¥ 5,000	葵クラブ	木下あつ子	¥ 5,000	〃
高木はる子	¥ 5,000	〃	早川住江	¥ 5,000	〃
伊藤孝子	¥ 5,000	〃	川崎幸江	¥ 5,000	〃
平瀬暢子	¥15,000	錦クラブ	小崎茂子	¥ 5,000	〃
石川好子	¥ 5,000	〃	藤村泰子	¥ 5,000	〃
竹内汎子	¥ 5,000	〃	森田慶子	¥ 5,000	〃
飯沼佐智子	¥ 5,000	〃	石本美知子	¥ 5,000	〃
堀内迪子	¥ 5,000	〃	坂口正子	¥ 5,000	〃
芦原明子	¥ 5,000	米クラブ	中野輝子	¥ 5,000	〃
広瀬忠子	¥ 5,000	阪神クラブ	大谷富子	¥ 5,000	〃
菊地悦子	¥ 5,000	〃	大家美枝子	¥ 5,000	〃
伊庭文子	¥ 5,000	〃	茶谷滋子	¥ 5,000	〃
横山幸子	¥ 5,000	〃	中馬知津子	¥ 5,000	〃
野田絢子	¥ 5,000	〃	段紅子	¥ 5,000	〃
泉和子	¥ 5,000	〃	辻本初江	¥ 5,000	〃
エベリン・			村瀬悦子	¥ 5,000	北大阪クラブ
オーバーライン	¥ 5,000	〃	増田泰子	¥ 5,000	〃
小島百合子	¥ 5,000	〃	村上姚子	¥ 5,000	南大阪クラブ
三木艶子	¥ 5,000	〃	大塚幸三	¥ 5,000	梅田クラブ
渡辺百合	¥ 5,000	〃	野村美智子	¥ 5,000	京都クラブ
三宮晶子	¥10,000	〃	常田道子	¥ 5,000	〃
バルク良子	¥ 5,000	神戸クラブ	山下慧理香	¥ 5,000	〃
尚美堂	時計	関西クラブ	荒巻多寿子	¥ 5,000	〃
上島晴美	¥ 6,000	〃	小川晶子	¥ 5,000	〃
江藤万里子	¥ 5,000	〃	小谷貞子	¥ 5,000	〃
井出智美	¥ 5,000	〃	続木智子	¥ 5,000	平安クラブ
武内熙子	¥ 5,000	〃	伊東貴久	¥ 5,000	〃
三宅梢	¥ 5,000	〃	安達寿子	¥ 5,000	〃

業真名会大くEビーリ

大藪京子	¥ 5,000	平 安クラブ	西尾瑠璃子	¥ 5,000	鳥 取クラブ
高橋雅子	¥ 5,000	〃	真 嶋 淑 子	¥ 5,000	〃
藤原文子	¥ 5,000	都 クラブ	君野栄子	¥ 5,000	〃
井筒恵美子	¥ 5,000	〃	繁 森 明 美	¥ 5,000	米子マンデークラブ
当麻幹子	¥10,000	奈 良クラブ	小嶋都志子	¥ 5,000	〃
総谷英子	¥ 5,000	〃	林 初 美	¥ 5,000	〃
都間和子	¥ 5,000	サタデークラブ	三保聖諭子	¥ 5,000	〃
天満寿美	¥ 5,000	米 子クラブ	梅 林 茉 里	¥ 5,000	〃
田代美津子	¥ 5,000	松 江クラブ	吉 田 典 子	¥ 5,000	〃
尾崎千鶴	¥ 5,000	倉 吉クラブ			
米子マンデークラブ役員会	¥30,000				

¥ 5,000以上寄付者 92名 計 ¥551,000

ITC日本リージョン基金委員長		三 宮 晶 子		
委員	No.1	豊 田 彬 子	No.5	藤 村 泰 子
	No.2	柴 田 伊 都 子	No.6	伊 藤 貴 久
	No.3	井 出 智 美	No.7	市 原 文 子
	No.4	米 門 公 子		

リージョン大会写真集



大会会場



ITC副会長 ルビー・ムーンDiv. VI入場



日本リージョン会長 鈴木宏子さん入場



開会式



ITC副会長 ルビー・ムーンさん挨拶



会員代表長沢久子さん挨拶



祝辞
愛知県知事 鈴木礼二氏



祝辞
名古屋市市長 西尾氏



乾杯 山本尚さん



晩餐会



日本リージョン歴代会長



“食後のひとときを音楽で”
独唱 新美真琴氏
ピアノ 荻野砂知子さん



会員による手作りコンサート



会長 鈴木宏子さんから
次期会長 バーク良子さんへ



クロージングソート



ページ係の皆さん

1989～1990 リージョン次期選出役員



テーマ “達成の道” Toward for Fulfillment

会 長	バルク良子 (阪 神)
次期会長	広瀬忠子 (〃)
第一副会長	江藤万里子 (関 西)
第二副会長	須知繁子 (名古屋)
書 記	鈴木みつ子 (サタデー)
会 計	小崎茂子 (大 阪)



“ルビームーン ITC副会長 Div. VI 滞在記”



VIP接待委員長 葵クラブ 近藤みほ子

今大会のITC公式訪問者ルビームーン副会長Div. VIの滞在期間は6月3日から10日までという今までにない長期滞在でした。VIP接待委員会は大会期間中のお世話だけでなく、名古屋に到着してから帰国の途に就くまでの1週間、国際交流委員会と一致協力してそのお世話を務めました。

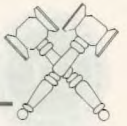
4月20日、ルビームーン副会長より滞在日程のお手紙を載いてから、どのように接待したらよいか、どうしたら少しでも喜んで載れるかとスケジュール作りに頭を悩ませ、相談し合い、準備を進めて参りました。実際にお会いいたしました副会長は大変親しみのある、気さくな方で、私たちはのびのびと楽しくお世話をさせて載ることができました。帰国される最後の日、家族へのおみやげをまだ買っていらっしやらなかった副会長が「家族へのおみやげなしには家には帰れないわ。」とおっしゃった時には、副会長といういかめしい肩書きをはずした妻として、母としての素顔に接したようで、一段と親しみを感じました。そこで私たちは何がなんでも気にいった物を買って帰っていただかねばと、デパートをかけめぐり、何とか満足した買物をして載けた時、自分のことのように嬉しく、又ホッと安堵いたしました。そして犬山での最後の観光をすませ、PM6:15の飛行機で、たくさんのおみやげとともに家族の待つオーストラリアへと無事帰って行かれました。

VIP接待委員会は多くの会員の皆様の暖かいご協力を載きながら、1週間任務を分担し、それぞれに心をこめてお世話をして参りました。日本での素晴らしい思い出を胸に帰国して載けたと確信いたしております。ご協力下さいました皆様、本当に有難うございました。紙面をお借りいたしました感謝し、お礼を申し上げます。

以下はルビームーンITC副会長のおおまかな滞在スケジュールです。

- 6月3日 PM 4:10 カンタス航空51便名古屋着 田中様宅(名古屋クラブ)宿泊
- 4日 京都観光 金閣寺・竜安寺・嵐山・友禅会館 烏丸京都ホテル宿泊
- 5日 比叡山・うきみ堂・日吉神社 夕刻名古屋へ 観光ホテル宿泊
(ウエルカムカードとお花のプレゼント)
- 6日 RMT・中日新聞社表敬訪問・CMT・朝日新聞社インタビュー
夕食会及び藤田六郎兵衛氏の笛演奏とお話
(果物、ゼリーの差し入れ)
- 7日 大会
- 8日 大会後、希望者と夕食会
- 9日 ノリタケチャイナ見学・徳川美術館・リージョン事務局訪問
堀内様宅(錦クラブ)にて茶の湯接待 山寺様宅(名城クラブ)にて夕食会
- 10日 デパート(ショッピング)・犬山城・有楽苑(如庵)・名古屋空港
PM6:15 カンタス航空50便 オーストラリアへ

*Thank you for your
courtesy You have
given me pleasant
memories of my stay
in Japan*
Riy Moon
VIP Division VI



1988—1989年度の日本リージョン事務局設立委員会は継続3期目の特別委員会として5名の委員が任命されました。委員会の任務は、

1. 事務局設立のためのすべての立案及び計画をする。
2. それに基づいて会則修正案を作成し役員会に提出する。
3. その他リージョン役員会の指示に従って任務を遂行する。

委員会は任期中全員出席会議を2回、郵便連絡会議を7回、それに役員会との合同会議を1回行ないました。

委員会は任務を遂行するため必要な調査、研究をし、各分野から検討した上、役員会に次の勧告を提出しました。

1. 事務局積立金のための募金の目的を明確にすること。
2. 事務局運営費の調達方法の立案。
3. 事務局の設立のための会則修正案。
4. 事務局の来期の資料、出版、翻訳と特別会計の運営についての考案。
5. 日本リージョンの将来を考え日本におけるITCの社会への還元、組織活動形態の点検、増設計画、事務局の事業計画など長期計画に取り組む頭腦的な委員会として長期計画研究委員会という特別委員会を編成すること。

今期始めに暫定事務局の事務所を名古屋市に2年間の契約で貸借することになり、暫定事務局の業務は事務所を拠点として運営開始しました。日本リージョン事務局設立委員会は暫定事務局の設置を達成し、来期からは本格的に事務局の基礎作りに至ったことで委員会の任務を果たしたことになります。

3年間の内、委員会の委員は入れ替わりがありまして、最初の2年間には阪神クラブの横山幸子さん、錦クラブの片桐寛子さん、それに名古屋クラブの八代ふゆ子さんと鈴木宏子さん達がそれぞれ実質のある功績を残して頂き、今期の委員会はその任務を果たすことができました。この委員会の活動により得がたい経験をさせて頂きましたことを感謝致します。

以上

日本リージョン事務局設立委員会

新木 昌子

江藤万里子

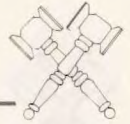
高柳 恭子

伊庭 文子

常田 道子



日本リージョン事務局



日本リージョン事務局設立委員 暫定事務局会計 江藤万里子

此度、ITC会則の翻訳が初めて出版されました。みなさまご覧になりましたでしょうか。ITC世界大会で行われるITC会則修正もこれにより、その年度の修正案と照らし合わせてみる事が出来、今まで他人事の様になっておりましたITC大会が身近にさえ、感じる様になりましたが、みなさまは如何がお思いになりますでしょうか。

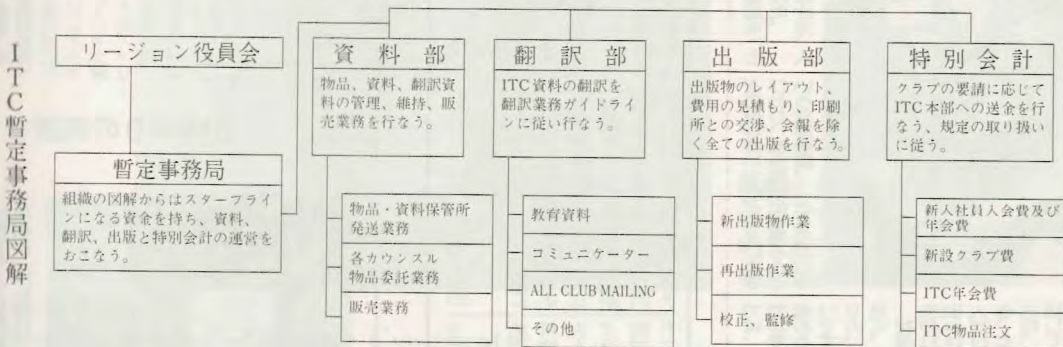
抜、日本に於けるITCは近年すばらしい発展をして参りました。クラブ数は50、会員数は1,300余名になりました。日本に於けるほとんどのクラブが日本語による会合を行い、教育資料、ITCのコミュニケーター、ITC会長メール等、すべての翻訳を希望する会員が多く、これ迄要望に合わせて事を運んで参りました。然し、これらの仕事はすべて会員のボランティアによるもので、或種のもは勉強と訓練をも兼ねられておりました。

事務局設立委員会は、1986年度より事務局や事務所について凡ゆる調査と研究を行い、事務局で扱う仕事とその内容を検討し、1988年度より暫定事務局として活動を開始致しました。今期一会員のご好意により借りる事が出来、開設されました事務所には現在資料の保管、発送、その他郵便物の発送処理が行われています。ここに事務局の推移を考えてみましょう。

〈事務局の推移〉

- 事務局設立まで リージョン役員会
 - 資料
 - 翻訳
 - 出版
 - ITC特別会計
 } すべて会員によるボランティア。伝達経路、作業が複雑であった。

- 暫定事務局 事務所開設—資料の保管、諸作業可能 ○下記図解の如く、組織の系統化を計る。



特に翻訳部は登録制度による有料翻訳者により、それぞれ分担作業により、従来より数多く且つスピードアップした。

- 事務局設立後—暫定事務局として確立された組織網により活動を行いつつ、徐々に事務局として最善の組織体制に移行する。雇用者と会員により、諸作業がより潤滑になる。

このように事務局が出来ることにより、これらの仕事の殆どが雇用者と会員によって処理されます。私共現在の日本に於けるITC会員は、10年前と比較にならない位沢山の本部発行のITC資料を速やかに手にする事になりましたし、コミュニケーターの記事も多く、早く読めるようになりました。

今日迄、この事務局設立への基礎固めにご協力下さいましたみなさまにお礼を申し上げますと共に、大きくなりつつある日本ITCの為に能率よく事務処理が出来ますように、会員お一人お一人に還元されます事務局設立への事業が達成されますよう、尚一層のご協力をお願いいたします。私、この3年間事務局設立委員として、又、今期は暫定事務局会計として有意義なお仕事をさせて頂きましたことを感謝致します。事務局は来期から本来の事務局としての活動を開始出来るとともに、会員の皆様と喜びを分かち合えることが出来、本当に嬉しく存じます。

日本のITCの発展の為によりよき組織固めとなります事を期待致しております。

1989年6月6日
読売新聞朝刊
(21) 市内

きなのうきまつ

1989年6月8日
朝日夕刊

オーストラリアのトップレディの一人ルビー・ムーン国際コミュニケーション訓練機関(ITIC)副会長(写真)が初来日。七、八両日、名古屋市中区錦の名古屋観光ホテルで開かれたITIC日本大会に出席。集まった五百人を前に一日

●社会進出

日本女性よ奮起を



本的女性よ、もっと奮起を。エネルギーに訴えた。ITICは女性話の仕方、人

との付き合い方などを互いに学び、社会的進出を図ろうという国際機関「ITIC」が日本では、会員千三百人の八〇%までが専業主婦です。この比率を低めようがITICの目的の一つです。オーストラリアやアメリカ、ニュージーランドなどは逆に、八〇%までが有職女性。従業員十二人の会社幹部。朝夫の社長、勤務夜学生の長男が出かけた後の七時ごろ起き、一人だけで朝食をとる、ブル付き七千平方尺の庭に飼った犬三匹、猫一匹、オウム三羽を世話して出勤。ええ、ウサギ小屋？庭が百平方尺？。悪いけど、お話が理解できません。

- 東海テレビ
6月7日 18時のニュース
- 中部日本放送
6月7日 20時50分
のニュースで報道された。

上手な話し方や聴き方、勉強する国際教育組織ITICの第七回日本リージョン大会が、七、八の両日、中区の名古屋観光ホテルで、

国内クラブ発祥名古屋で
日本リージョン大会

あすから

国内の会員約五百人が参加して開催される。ITICは、一九三八年に米国で、アーネステイン・ホワイト女史が、社会に役立つ指導力と時代に即した国際ルールを学ぶことを目的に創設。現在は世界に三千三百を越すクラブがある。国内では昭和二十四年、名古屋に進駐して来た米軍将校夫人らが名古屋財界の夫人に呼びかけて「名古屋クラブ」を結成したのが最初で、全国に五十クラブ、千二百人の会員がいる。今年にはITICが日本に誕生してちょうど四十年、国内クラブ発祥の地、名古屋に本部からルビー・ムーンディビジョン副会長を迎え、外部の講師らも招いた教育セッションや、スピーチコンテストなどがある。

1989年6月14日
朝日夕刊

きなのうきまつ

●訴え

20年ぶりの英語で

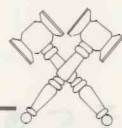


ク、全国大会を勝ち抜いた。世界大会での演題は、ブロック大会と同じ「フリッジ」。「障」を取り入れて使って、「肝心の原稿なくしちゃって……」ITICで原稿の環境破壊への危険を訴えた日本語非論の直後にチエルノブイリ事故が起き、会員の信用も絶大。「でも娘二人を中学生に育てた専業主婦のろえ、英語も訪米も南山大時代以来二十年ぶりで……」。小池澄名百貨店社長長の長女、名古屋の百貨店丸栄の美術部長見義さんが夫、「アメリカで着る服、買わせなきゃ」

名古屋市中区南明町の主婦川崎理子さん(写真)が、アメリカで開かれる世界英語スピーチコンテスト日本代表にこのほど選ばれた。コンテストは、国際イン・オメーション訓練機関(ITIC)、本部アメリカが七月十六日から五日間、加盟二十八国代表をラッセバ



大会コーディネーター謝辞 Conference Coordinator's Message



名古屋クラブ 豊島 知子

第7回日本リージョン年次大会はITC副会長ルビー・ムーンさんをお迎えし、盛会のうちに無事終了することができました。これもご遠方から、又お忙しい中ご出席くださいました沢山の会員の皆様、そして大会準備委員会の方々のご協力とご援助のお蔭と心より感謝申し上げます。会員数もクラブ数も年々増加し、今大会は7つのカウンスルよりの参加となり準備側もいろいろ戸惑ったり、心配なこともございましたが大会の二日間、皆様、快くお越し頂けましたでしょうか。この大会が年に一度の会員間の交流の場として、懐しいお顔やら、新しいお仲間とお話のできる得難い一時を準備できたらと一生懸命お世話をさせていただきました。私共もこの大会を通じて沢山の会員とお会いでき、再会を約束いたしました。そして本当によい勉強をさせていただきました。大会に際し、ご指導、ご助言くださいました方々に心よりお礼申し上げます。すばらしいお力を心よく進んでおかし下さいました準備委員会の皆様、厚くお礼申し上げます。皆様とご一緒に一つの目的に向かってお仕事のできたことを心から幸せと存じます。ありがとうございました。



豊島知子さんと
コ・コーディネーターの
竹内宏子さん
葛谷美紀子さん

Message from Conference Coordinator

Nagoya club, Tomoko Toyoshima

The 7th Japan Region Conference ended in great success with the attendance of ITC V.P. Div. VI, Mrs. Ruby Moon as our special guest. I would like to extend my deep appreciation to every member who has come all the way to Nagoya in spite of busy schedule. I would also like to give my hearty thanks to the committee members for all the efforts and cooperation in organizing this conference.

The numbers of members and clubs have been growing year by year. This year, members from as many as 7 councils took part in this conference. The growing number of participation is our great joy but at the same time, it was a cause of our concern over how we could meet the needs of all the members. I sincerely hope you had a pleasant 2-days' conference.

The annual conference provides a valuable occasion for starting as well as renewing friendships. We tried our best to prepare for such special occasion. I myself could meet many members and promised to meet again next year. We have learned a lot from this experience. I would again like to thank members for your thoughtful advice and guidance, and committee members for offering the best of your ability. I was very happy to be able to work with you toward one common goal.
Thank you very much.

祝チャーターに会大
Congratulations!



「新しい人の輪づくり」をめざして

米子マンデークラブ会長 繁 森 明 美

このたび、みなさま方の暖いご指導と力強いお力添えをいただき、米子のITCの二つのクラブとして、私ども「米子マンデークラブ」が5月12日、晴れて呱呱の声をあげさせていただきましたことは、チャーター・メンバー一同、この上ない喜びでございます。

51年前にITCの創始者アーネスティン・ホワイト女史が掲げられました「四つの目的」を学ぶその第一歩として、私たちは初年度のテーマを「新しい人の輪づくり」といたしました。

相手のいうことに積極的に耳を傾け、より正しくこちらの意志を伝える努力を重ねることによって、お互いの心の扉を開き合う—そうした訓練を通じて、新しい人の輪をつくり、更にそれを広げていきたいと願っております。

「生涯学習」という言葉がよくいわれていますこの頃、このITCの活動を通じて倦まず弛まず自己の啓発に努め、ひいては地域社会のお役に立つまでに成長したいと考えております。

どうぞよろしくご指導くださいますよう心からお願い申し上げます。



人生——よき友と共に

境クラブ会長 松 本 伊 智 子

風薫る5月12日、私共境クラブは、大勢の方々のお力添えで無事、認証状授与式を終えることが出来、感謝の気持ちで一杯でございます。

振り返りますと、昨年6月、米子クラブ増設の方からお誘いを頂き、例会に参加させて頂きました時は、非常な戸惑いを感じました。9月にカウンスルNo.7会長西尾琉璃子様を迎えての説明会、10月のリージョン増設委員長鈴木みつ子様を迎えての模擬例会に参加と、回を重ねる度に議事運営法の見事さ、スピーカーの話しぶりに魅了されていき、いつしか戸惑いと緊張もほぐれ、皆様方の心のもったご指導の下、境クラブが誕生致しました。

ホワイト女史の掲げられた四つの目的を学ぶ第一歩として、今期テーマを「人生—よき友と共に」と致しました。三人寄れば文殊の知恵と申しますが、各々が自己啓発することによって、勇気を与えてくれる友、批判をしてくれる友、考え合える友を得ることが出来、互いに向上出来ればと願っております。

皆様のお仲間に入れて頂きましたことを嬉しく存じますと共に、今後ともよろしくお願い申し上げます。

ITC日本リージョン 会員状況

『50クラブと160名』

リージョン第二副会長 木下あつ子

今年度は5月31日の時点で、日本リージョン長期目標の1つ「50クラブ」設立を達成し、会員数は160名の増加となりました。来期へ向けて、皆様の益々ご活躍をお祈りいたします。

1989年5月31日 現在

	カウンスルNo.1	カウンスルNo.2	カウンスルNo.3	カウンスルNo.4	カウンスルNo.5	カウンスルNo.6	カウンスルNo.7
1	名古屋 27(26)	阪神 30(25)	関西 29(30)	九州 27(26)	大阪 30(29)	京都 26(30)	鳥取 30(28)
2	葵 28	神戸 26(20)	芦屋 25(23)	ひろしま 29	北大阪 30(25)	平安 29(28)	米子 29(27)
3	東京 24(27)	E神戸 30(27)	西宮 23(17)	福山 30(22)	豊中 22(20)	都 30	松江 28(29)
4	錦 27(22)	甲南 30	姫路 30(29)	岡山 30	南大阪 30(28)	奈良 29(28)	倉吉 30
5	栄 20(18)	六甲 29(28)	尼崎 23(24)	安芸 26(27)	城北 22(20)	北摂 26(17)	境 24(0)
6	筑波 26(24)	宝塚 19	舞子 18(15)	大分 23(17)	梅田 21(20)	サタディ 28(0)	米子マンディ 27(0)
7	青山 20(17)						
8	名城 30(29)						
9	東山 27(28)						
10	柏 30(28)						
11	浜松 20						
12	千葉 25(22)						
13	サンディ 25(22)						
14	東葛 17(16)						
	合計 346	164	148	165	155	168	168
	1クラブ平均 25	27	25	28	26	28	28

1989.5.31 現在 総合計1,314名

1988.8.1 総合計1,154名

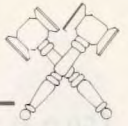
増加会員数160名

◎1クラブ平均は四捨五入しています

()内の数字は、1988.8.1の会員数

リージョン会報第3号の訂正

		[誤]	[正]
P.18 資料一覧表	A 4. ITC会則	350	→ 250
	C 37. 品番	371	→ 571
	D 8. よこ型封筒 (1束20枚)		→ (1束10枚)
P.33 補正予算	収入の部 予算額の項目を1行ずつ下げる。		



“ロバートの精神”

日本リージョン議会法規役員 **高柳 恭子**

最近の日本リージョンでは、どのレベルにおいても組織運営や議事法についての関心が漸やく高まり、よく勉強されて、その知識、技術など大変に向上してこられました。私の許にもかなり高度な質問がまわり、かえって学ぶ機会を与えられております。この現象は喜ばしいことですが、一方、余りそれを前面にふりかざしますと、議事法は人の和を乱すものとして誤解され敬遠されてしまう、といった現象も一部には起きているようです。議会法規役員はこうした現実も踏まえて、会則を守り組織としてのルールを学び、それに沿っていくことが一番集団の場合には合理的で人の和も保っていけるものである、といったことを、急がないで段々に判ってもらうように働きかけていくことも大切です。時には理解されるまで待つ、といった余裕も必要でしょう。又レベルによって、地域によって、それぞれのそれまでの慣習や実情もあるので、それを調べ知っておくことも必要です。

元最高裁判所長官であった藤林益三氏は、“真の繁栄は謙虚さから”と題し、「英国には、“良き法律家は悪しき隣人”という諺がある。法律を学ぶと権利主張が強くなり、人間関係をギスギスさせるためであろうか。法律家はまずよき隣人でなければならない。すなわち法律家である前に良き人間であらねばならないと思っている」といったことを新聞に寄稿しておられます。

私も、議会法規役員は、勿論議事法に精通するよう研鑽し会長や役員、会員方の議事運営に関する信頼できる良き助言者でなくてはなりません、そのためにはまず、自らも良識をもった、良き会員でなくてはなりません。知識を身につけるだけのことでしたらそれは容易なことですが、人間としてそのこころも育てていく、といったこととなりますとなかなか容易なことではありません。しかし、議事法の本来の目的は、一人一人の権利が守られ、平等であり、究極は集団の平和、協調が基であります。議事法を通じて、そうした真の目的、精神を忘れないようにと願っております。

議事法テスト 14 (教育特集、議事運営手順ゲームの中より)

問 主要動議が討議中に、修正動議が提出され、動議提出者がそれを受諾した。修正動議が表決に付されて否決されたら、修正前の主要動議もここで表決に付されるべきですか。

答 いいえ。

理由 主要動議の討議がはじまった中でも、修正動議が提出され、主要動議提出者がその修正動議を「受諾」、フロアもその「受諾」を異議なく認めれば、その主要動議は、修正された主要動議として扱われます。その為、その修正動議が表決に付されて否決されますと、そこで提出された動議は消失したことになります、答は、「いいえ」となります。これは手順と時間の節約になる方法です。

修正動議を提出するときの注意

1. 修正は、主要動議に密接に関係しているものでなければなりません。
2. 挿入や付加された語句を、変更や削除することはできません。
3. 一時に扱えるのは、ひとつの第1修正案と、ひとつの第2修正案だけです。
4. 第1修正案は上程中の動議を修正し、その動議と密接な関係がなければなりません。第2修正案は第1修正案を修正し、それと密接な関係がなければなりません。
5. 削除による修正は、第1修正案から語句を削除する修正しかできません。
6. ある所から削除した語句を、別の箇所へ挿入することはできません。

7. 置き換えによる修正は、第1修正案でなくてはなりません。
8. 置き換えによる修正案が可決すると、置換動議が懸案議題となり、原動議は置換動議にとって替われ、もはや懸案事項でなくなります。
9. 置き換えられた動議は、以後、付加以外の修正はできません。

修正動議は私たちがよく使う動議の一つですが、色々ルールがあり、実際に使うのはなかなか難しいようです。修正とは主議案の内容と密接に関連するか、または関係していなければなりません。これは、修正の口実で、新しい議題を持ちこんではならないことを意味します。また、議長が、修正の関連性を判断しかねる場合は、議長は修正を許可するか、あるいは重要な場合には、会議の決定に委ねます。その方法は、「議長は判断いたしかねますので、当該修正の関連性を会議の決定にゆだねます。ご意見はありませんか…(討議があれば、これに続く)。議題は、この修正が主要動議、(または第1修正動議)と関連があるか、ないか、です。」と述べ、賛否を問うて決定します。

以上、ロバート議事法 修正の項より

このような手順になれるためには、実際に練習してみる外ありません。クラブでも機会をつくり練習してみてください。

“トピックス”

日本リージョン広報委員長平瀬暢子さん安城ロータリークラブで卓話



ITC日本リージョン広報委員長 平瀬暢子氏

ITCは、50年前アメリカで女性達のために設立された。その目的として

- ①上手な話し方、聞き方の訓練
- ②リーダーシップの養成
- ③効果的な会の運営法
- ④自己啓発及び国際感覚の養成

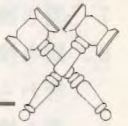
この4つを学んでいる。会員数は21,000名そのうち日本には50のクラブで1,300名、最近では男性会員も入ってきました。言葉を愛し流暢にかつ優

雅をモットーに系統だてた話し方を訓練しています。中でも賛否両チームに別れて徹底して行うディベートは、日本人の苦手分野を克服させ、現代レトリックの勉強は、説得だけでは動かない今の時代にも即応できる伝達能力を養ってくれます。他人への思いやりある言葉を忘れてしまった現代社会では、豊富な言葉をもって豊かな気分で話す技術を身につけることが望まれます。表現力豊かな話し上手、聞き上手は人生をより豊かにします。

(安城ロータリークラブ会報より)



ITC コミュニケーターより From "ITC COMMUNICATOR"



(Vol.4 No.3 March/April 1989)

信頼を築く会話

The Language of Rapport p.2~4

Suzy Sutton

Communications Consultant

英語の“rapport”という言葉は、様々な連想を思い起こさせます。配慮、尊重、一致、調和、よい間柄、親しみ。どんな連想をもつにしろ、この“rapport”(信頼感)こそが、あらゆる人とのあらゆる状況における会話に大切に 効果的なコミュニケーションをはかるための基盤といえるものであることは間違いありません。

過去の研究によりますと、私たちが自分の意見をより良く理解してもらうためには、相手のことばだけでなく、ことば以外の表現に心を向け、応じる必要があるそうです。私たちが話をしているとき、必ずしも常に注意深く相手の言うことを聞いているわけではありません。お互いに向いあっても、本当に相手を見ているとは限りません。“rapport”(信頼感)とは、コミュニケーションのきずなを深める、大切な連絡部の役を果たすものです。

第三者に自分の言いたいことを理解してもらうには、こちらが相手の利になることや相手の見方を理解している、ということを知ってもらうことが大切になってきます。商談や個人的な会話を効果的にすすめるにも“rapport”(信頼感)は欠かせません。

コミュニケーションが相互に満足のゆく状態にあっても、なぜそうなったのか、何がそう運んだのか、ほとんどの場合気づいていません。誰かとうまくコミュニケーションがはかれても、期待にかなったというより、思わずそうなったということはよくあります。私たちの誠実な努力が、たまにしか実を結ばないのはなぜでしょうか。

その理由の1つに、信頼を築く技術不足が挙げられます。相互に有益なコミュニケーションを築くためには技術が必要です。つまり、ことばの上のやりとりだけでなく、もっと相手のことば以外の表現に注意を払う必要があるのです。もちろん、こうした技術というのは、自然にいくらか私たちの身に備わっているものです。しかし、この生来の技術を再認識し、研ぎすまし、意識して有効に使うことが大切なのです。

信頼を築くための技術というものを配慮して正確に使うならば、相手の信頼を勝ち得るだけでなく、その関係を持続させることも可能です。ここに、相手とのコミュニケーションを深め、その目的にかなった雰囲気をつくりだす方法を、いくつか述べてみます。

1. 相手の話しぶりに合わせる

相手の話しぶりに合わせるため、自分の話す調子、スピード、音量を調整します。歌にあるように、「あなたの言うことが大切なじゃない、あなたの言い方、それが大切」です。この方法は特に電話での会話に効果的です。相手の理解を得るか、それとも誤解を招くか、就職、セールス、デートの約束に成功するか、失敗するか、の差を生むこともあります。私は自分のラジオ番組への出演依頼のために電話をかけることがあります。相手の話しぶりから、すぐにその人に本当に出演してもらいたいかどうかを判断します。そして相手の声から伝わる相手のエネルギー、声に表れた相手の姿勢、熱意があるかどうか、自信を持っているかどうかを耳を傾けます。これらは実際の番組の録音中、相手をくつろがせ、その人からより自然に情報を引き出すのに、私自身の話し方をその人に合わせるための重要な手がかりになります。

2. 相手の呼吸に合わせる

相手の肩の動きを観察して、自分の呼吸を調整することにより、相手の呼吸に合わせます。

3. 相手の体の姿勢に合わせる

相手と同じ姿勢で椅子に座ったり、立ったりするようにします。相手の姿勢の変化を注意深く観察します。多少訓練を要しますが、相手への共感をさりげなく表わす方法として、自分の体の動きを調整する適応性と敏感さを開発することができます。

4. 相手の選んだ言葉に合わせる

相手の選んだ動詞、修飾語(副詞・形容詞)を自分も使うようにします。動詞、修飾語は、その人が視覚、聴覚、知覚でとらえたその人の内面的な経験を伝える言葉です。私たちをとりまく世界を理解するのに、私たちはあらゆる感覚を働かせます。相手の経験に合わせる行為は、信頼感を築く上で最上のものといえます。

「相手の話し方で話をする」仕方で応じるのは、相手にこちらの主張をより理解しやすくするだけでなく、相手の感じ方がよりよくわかってきます。相手の感覚に基づいた言葉に注意を払うことで相手がどのように経験を情報化するかという、相手の基本的なものの見方を推しはかることができます。訓練を積むことで、相手に最も理解されやすい言葉で返答する技術と柔軟さを養えば、両者にとって考える最良の結果を得られるのです。また、こうした行為こそが、効果的なコミュニケーションとは何かを端的に表わすのではないのでしょうか。

最も理解されやすい言葉で返答することで相手の信頼感を高める、これはコミュニケーション上、特に自分にとって苦手な相手とのコミュニケーションをはかる上で、最も敬意にあふれた、ていねいな方法です。もし相手が見、聞き、感じていることを無視してしまったり、相手の信頼を損い、両者のやりとりを台無しにしてしまいます。

相手に理解されやすい言葉や態度でやりとりすることで、相手の信頼を深め、コミュニケーションを効果的なものにします。例えば、もし多勢の聴き手の中からあなたの意見に反対する人が現れた時、

- 1.) 聴衆や相手との間に信頼感を確立するために、まず話すのを止め、相手を見、意見に耳を傾けます。
- 2.) 相手に誠実に注意を向けます。
- 3.) 相手と同じような体の姿勢をとります。
- 4.) 相手の使う、視覚、聴覚、感覚から語られる言葉や文に耳を傾け、それに合わせて返答します。
- 5.) 相手の話しぶりと呼吸に合わせます。

必ずしも相手を好きになる必要はありませんが、自分が答える前に相手の言わんとすることに耳を傾け、相手の動作に注意を払い、相手の心を感じようとしなければなりません。相手の経験に照らし合わせて言葉を選ぶのは、相手にあなたの主張を受けとめてもらうためだということを忘れないで下さい。言いかえれば、すぐれたコミュニケーターは口を動かす前にまず、目と耳を有効に使うのです。

相手と同じやり方で返答するような柔軟さを身につけることは、難しいことではありません。訓練を要しますが、その結果得るものには計りしれないものがあります。一例を挙げれば、相手の注目や信頼をかなり早い段階で得られ、目的を達するのに非常に有利な立場に立つことができます。さらに大切なのは、相手の言葉に自分の言葉を合わせることによって、両者の間のコミュニケーションだけでなく、相手個人にもあなたが注意を向けていることを示すことができることです。

まず、あなたの子供があなたに言う言葉—視覚、聴覚、感覚から語られる言葉—をよく認識することから始めて下さい。あなたにも同じ言葉で応じるよう努め、その結果に注目して下さい。まずこのことだけに2〜3週間とりくんでみましょう。楽にできるようになったら、今度は友人、夫(妻)

に対してもこの方法をやってみます。

さらに対象の相手をどんどん増やして下さい。この技術を自然に行えるようになる頃には、すばらしい効果を得ているはずです。ただし、これはゲームを楽しむような感覚でなさして下さい。くれぐれも深刻にならないよう、軽い気持ちでとりくんで下さい。相手の会話の型と世界に入ること、あなたがどれだけコミュニケーションの力を上達させるか、が目的のゲームです。

マーク・トウェインは「『ふさわしい言葉』と『大体においてふさわしい言葉』は電光とほたるの光ほどの違いがある」と言っています。時にコミュニケーションが誤解に終わる理由もここにありまゝ。実際、言葉はまるで口から発せられた途端、疑いを受ける宿命にあるかのようです！信頼感をお互いの間に築くことで、より効果的な、より楽しい対話への基盤を準備することができます。

次の、視覚、聴覚、感覚それぞれから語られる言葉を集めた表を御覧下さい。（※訳者注・「表」省略）これらは私たちが見たり、聞いたり、感じたりしたことを表わすときに使う言葉です。比較すると、その人の感覚を伝える、心や感覚を表わす言葉の方が、見たり、聞いたりしたことを伝える言葉より、聴き手には受けとめやすいことがわかります。

ここに、言葉によって信頼関係を築く上で良くない例があります。なぜだかわかりますか。

John : "My boss gets my goat !"

（上役には全く頭にくるよ！）

Sally : "I can see you and your boss don't see eye to eye !" （※傍線訳者）

（あなたと彼、話が合わないのね）

もしサリーが感覚を表す言葉を使って答えたら、もっと相手から話を引き出し、信頼感を確立するのに成功しただろうと思われます。例えばこのように答えていたらどうでしょうか。

Sally : "Gee, John, it must be hard to stay calm when your boss keeps pulling your strings."

（※傍線訳者）

（わかるわ、ジョン、相手が裏で何かたくらんでいる時に平静でいられるはずがないわ。）

信頼感を確立しないままコミュニケーションをはかるのは、光がない所で物を見、音声を発しないで話し、物を触らないで感じようとするのに等しいものです。

もちろん、相手の選んだ言葉に合わせる他にも、信頼を得る方法があります。信頼関係を築くことは、単なる言葉よりもあなたの主張を伝えます。そして私たちの体すべてが、この信頼を得、維持するための道具でもあります。

私たちの内面の状態とコミュニケーションのスタイルは、私たちの体にも表現として表れます。言語と非言語に表れたニュアンスは、全てそれを観察し、理解する力のある相手に雄弁に伝わります。どんな時もコミュニケーションをしないでは不可能です。そして私たちの生活の質は、コミュニケーションの質に左右される程深く関わっています。信頼を得る技術は、そのどちらの質をも向上してくれます。

信頼関係というのはダンスに似ています。時に踊り手は互いに近付き、時に離れていきます。すべるようになめらかな踊り手もいれば、飛びはねて、よろめく人もいます。優雅な信頼関係が保たれている時は、どちらがリードをとり、どちらがリードに従っているか区別が付きません。両者が互いに互いの世界を尊重し合いながら行き来している時、二人はまさに信頼という言葉に合わせてダンスを踊っているのです。

武政千子訳(筑波クラブ)

テーブルトピックスのリーダーを引き受けた時、架空の国ファンタジアの内閣閣議に皆さんをお招きしました。会員の数人に閣議のメンバーになってもらい即席スピーチをしていただきました。大臣に指名された人は短期並びに長期政策を発表し、新しい国のVIP気分を味わいました。大変楽しめましたので、このテーブルトピックスに使った教材をITC Communicatorを通じてITCの他のクラブの皆さんに紹介してみたらと思ひペンを執りました。

閣議のメンバーに国の背景として提供した内容は、次の通りです。

~~~~ ファンタジア共和国 ~~~~

皆さんは、南太平洋のタヒチ島の近くに位置するファンタジア人民共和国と呼ばれる新しい独立国の国民であると、想像してみてください。私が皆さんの国について手短かに紹介させていただいた後、6人の方を大臣に任命しますので、任命された方はこの新しい国の政策発表即席演説をしていただきます。政策はこの国を南海のパラダイスにするような内容のものを出して下さい。

ファンタジア共和国は5つの島から成り立っています。この国は独立した1988年まで英国の植民地でした。この島国に住む人々はファンタジア人と呼ばれ、公用語である英語と土地の言葉であるファンタジア語を話しています。政府はこの土地の言葉を第2の公用語にし次第に英語に替わるものになりたいと思っています。

ファンタジアは、人口800,000人で、その大部分が首都のファンタシティのある本島に住んでいます。人口を全ての島に均等に分散させることは、この国の独立後の重要課題であります。

共和国の経済は、漁業と果実栽培に大きく依存しています。日本はこの国から魚を輸入していますが、日本政府は自国の農家を保護するため、果実を購入することを拒否しています。ファンタジア共和国内閣はこの問題に取り組みねばなりません。

この国の若い世代の人たちは相当西欧化していて、この島に留まることを望んでいません。若者の多くが英国やカナダに移住するので残された高齢者の対策が大きな問題となっています。

国際社会においては、ファンタジアは西側諸国と外交関係を持っていますが更に中華人民共和国と外交関係を樹立することを考えています。しかしこのことで中華民国との現在の良い関係を維持しにくくなりそうです。外務大臣はこの問題解決に全力を注がねばなりません。

今のところ5つの島は航空路線と連絡船で緊密に結ばれています。島々を結ぶ橋の建設がこの新しい国の最初の仕事です。ファンタジアはまた国際航空路線を開設することを望んでいます。手始めに日本との間に路線を開設することを考えています。この国の航空会社は技術並びにサービス面での他国からの援助を必要としています。

最近政府は2つの大きな化学会社の工場をこの国に建てるよう要請しました。これらの工場の建設により大気や水の汚染の危険性があり、政府による綿密な事前調査が必要です。

ファンタジア国民の収入並びに生活水準は非常に低く、医療や教育機関は本島に集中しています。これらの施設を分散させることは政府が取り組むべき重要課題です。

さて次的大臣各位に、第1回閣議の席上政策発表をしていただきます。

外務大臣、建設大臣、運輸大臣、文部大臣、通商産業大臣、農林水産大臣

編集者より：筆者は「他のクラブの例会で採用されている新しいユニークな手法」がITC Communicator誌上で紹介されることを希望しています。昨年5月に結成されたばかりの日本サンデークラブの会員が楽しんで大変想像力に富むテーブルトピックスは皆さんにとってきっとよい刺激となることでしょう。

林 和義(サンデークラブ)

## 委員会—あなたは大切なことを見落していませんか

Committees—Have You Missed the Point? p.16

Joyce Wall, Chay Club

Barrie, Ontario

委員会の仕事を頼まれた時、次のような考えが頭の中をよぎったことはありませんでしたか。

- 私がITCに入会したのは、委員会の会合で時間を費やすためではなく、もっと自信をもって話し、自分を表現するにはどうしたら良いかを学ぶためである。
- クラブ以外の会則や常規に私は関心がないので、その決定は誰か他の人に任せておけばいい。
- 委員会はプログラムの表紙のようなものひとつを決めるにも余計な時間をかけすぎる。
- 社交的なおしゃべりで、1時間の例会が2時間になってしまう委員会のやり方に反発と疑問を感じる。

これらにはそれぞれ一理あり、誰もが一度や二度考えた経験があると思います。私自身もそうでした。でも、私達は委員会について大切なことを見落していると思います。

### トレーニングの意義

ITCでは、自分の能力を広範囲に伸ばすために委員会の仕事をしているのです。そのいくつかをあげてみますと、

- 委員長は、決められた時間内に議事日程をこなすこと、あるいは、前もって議事日程を配れば各委員に準備の時間を与えられるということ、を学ぶことができます。時間を上手に使うことが、実りある会合にするための鍵なのです。
- 委員会の仕事は、有能なリーダーを育てます。会員は会合の中で、会の運営の仕方や討論を正しい方向へ導く方法を学ぶことができます。有能な議長は、全員の意見が反映されるよう心を配るものです。
- 他の会員に役割を引き受けてもらったり、仕事のやり方を指示することによって、やる気を起こさせる方法を学ぶことができます。一般に“頼んだら任せよ”と言われますが、委員長なら誰もが知っているように、これは正しくありません。頼んだ仕事の進み具合をみることは、最初に依頼するのと同じ位大切なことなのです。
- 自分の考えを明確に表現することを学ぶことで、率直で効果的なコミュニケーションの方法を身につけます。
- 問題の解決方法を示す前に、時間をかけること、そして適切な下準備をすることがいかに大切かを学びます。討論する問題について会員がどのような理由で、どのような立場に立っているのかを時間をかけて知り、議論の有力な点と弱い点とをよく観察するのです。このように時間をかけることによって、あなた方の討論や解決方法はよく準備され、従ってよりよく理解されることになります。

あなた方の多くは他の組織にも属していると思いますが、その会合についてどう思っていますか。その会合をもっと実り多いものに改善できると考えますか。もし答えが“はい”なら、その会に必要な改善のノウハウをITCのトレーニングの中で、あなたは学んだのです。地域社会は、あなたの組織力と指導力を必要としています。

### トレーニングの応用

あなた方のうち何人が経営者や第一線の管理者の立場にありますか。何人がそうなりたいと思っていますか。自信を持つことがこのような立場で成功する鍵です。自分に自信があるのなら、はっきりと意見を述べることを恐れることはありません。感じていることや考えていることを言って下さい。“今迄とは違った方法で仕事をやれば、お金、時間、労力が節約できることを、上司は分かっているのかしら”と今迄机に向って考えたことはありませんでしたか。そうなら、あなたのア

アイデアを要約した報告を書いて提出してみてください。私は、現在の地位をITCの委員会の仕事、特に、報告書作成をする中で受けたトレーニングの結果だと確信しています。

#### 責任

勿論、委員会の仕事は責任のあるものですから、ITC教育資料の“効果的なりポートの仕方”(cat. #533)と“効果的な委員会機能”(cat. #576)の2つを読むことを是非お奨めします。

私がかって参加したワークショップで、その時のワークショップリーダーがこう言いました。“ITCを大学のコースと同じように考えて下さい。時間もかけなければならぬし、宿題もしなければならぬのです。”私は、彼女の言葉に次のことを付け加えたいと思います。“大切なことを見落してはいけません。委員長や委員として委員会の活動に参加し、せっかくのトレーニングの機会を逃さないようにしましょう。”

中村政江訳(筑波クラブ)

#### 中国のチャレンジ始まる

The Challenge of China Has Begun p.17

Muriel Bryant

Executive Director

最近の手紙の中で、エレン ソロモン チン(Ellen Solomon-Ching)はこのように書いています。「私の良い知らせはITCにとって今年一番嬉しいニュースになるだろうと思います。中国でのITCの夢は1989年に実現するでしょう。」エレン ソロモン チンは以前、カナダのウィニペグにあるネリー マクラングクラブの会員でしたが、カナダ ヒューレット パッカード社のエンジニアである御主人と北京に駐在しています。彼女は英語を教え、中国語を学び、タイ チー(Tai Chi)の高い評価を得て表彰されました。それにしても彼女は、中国のITCがコミュニケーションの技術を拡大するという未曾有の動き、つまり「何か大きな出発点」、に立っているとまだ信じているのです。西洋世界の表現の自由に対して、あるいは、世界市場でもっと競争力をつけたいという願望に対して、中国の新しい開放された政策は尚一層多くのクラブが拡大する機会を与えてもいるのです。

エレンはITCクラブを形成するために中国人のグループと共に働いてきました。会長にはグオ・ゼンピン氏(Mr. Guo Zhenpink)中国人民開放軍将校；副会長にはキィ・ペンさん(Miss Xie Peng)服飾会社勤務；書記にはザオ・グーテンさん(Zhao Guoteng) IBM勤務；会計には中国医学トリビューン紙のホン・ジャンクシャ(Hong Jianxia)がなりました。彼女が言うように、たいへん異なる職業を持った人達の混合であり、50%が男性です。ミーティングは英語で行われます。

大多数の会員は既に中国人の会費を100元(\$US27)という新しい単位で支払っているのです。これはいかなる中国人にとってもたいへんな費用なのですが、中国の貧困の境界線は年収200元(RMB200)の所にあります。労働者の大半は月収200元しか稼いではありません。それ故、よりすぐれたコミュニケーションの世界で永久に一勢力であると彼らが強く信じるものに所属するため、半月分の給与を支払っていることになるのです。

10億以上もの人口を有するこの国において、ITCに所属するのに半月分の給与を支払うなどという余裕のある人はほとんどいないのです。そんな国にこのようなクラブを設立できるかどうかは、アメリカのITC会員達の優しさと寛大さにかかっていると云えるかもしれません。

北京の事務所は、個人では買うゆとりのない資料を供給するため開かれなければならないかもしれません。しかしながら世界中がより深い相互理解を達成するためにはこれ以上の良い方法があるのでしょうか。エレン ソロモン チンは言っています。「中国は中国なのです。特別な必要性があるのです。今の時点でも最も熱心な教育的訓練は英国や西洋の管理技術にあるように思われます。その両方共ITCを通じて学ぶことができるのです。」

中国語にクラブというような言葉はありません。場合によっては西洋の専門用語も中国文化に即

応した用語に言いかえる必要があります。今、中国とアメリカの間で知識を共有することはより大きな友情と文化的交流を導くことができるのです。「同族クラブ」の設立は中国と西洋社会の間の相互理解推進のための門戸を開くことになるのです。

エレン ソロモン チンが既にこの企画に費やした尠大な仕事を思うと、私達は彼女に対して感謝するに余りあるのです。私が昨年6月中国を訪れ何人かの会員になりそうな人々にお会いした時、コミュニケーションの知識が乏しい時期であったにもかかわらず、彼ら自身でやってみようとする彼らの決意に感動しました。彼女は彼らの書く技術を高めようと努めて、ITC北京役員に本部と文通するよう激励しています。エレンと彼女の御主人のピアスは今年の7月に中国を発つ予定です。そこで彼女は北京に移住している人で、この心躍る仕事を引き継いで下さる方を探しています。特に北アメリカに設立されているクラブで、1,100万以上もの人口をかかえた都市の中にクラブを増設する手助けをしながら、「中国のチャレンジ」を後援してくれるクラブはないでしょうか。しかもそれはほんのスタートにすぎないのです。

兜 美知子訳(筑波クラブ)

### 議会法規のページ

Parliamentary Page p.21

Phyllis M. Silvestri

ITC Parliamentarian

《質問》 私たちは、15分間でビジネスをやりたいのですが、各会合毎に議事録を読む必要があるかどうか知りたいと思います。コピーを配布あるいは郵送してもよいことは知っていますが、この方法はとても高くつきます。ビジネスを含んでいる部分のみ読むことができますか。

（答） 会合毎に議事録を読むことはまったく必要ありません。議事録を読まないという動議を出し採択することができます。しかしながら議事録はまだ会員の承認を必要とするので、次の会合の時に前回の議事録と一緒に読む必要があります。そしてクラブの議事の公認記録になる前に、議事録の承認が要求されます。もう一つの時間節約は、会合の前に各委員会へ議事録のコピーを配り、議長が「みなさん、(日付)の会合の議事録のコピーがお手元にあると思います、訂正箇所がありますか」という前に急いで熟読できるようにします。この方法はあまり高くつかないでしょう。特に書記が議事録を1ページに収めてくれた場合には。

ビジネスを含んでいる部分のみ読むことに関しては、これは賢明なやり方とは思いません。会員が議事録を承認する時は、その中のすべての報告が正しいを可能な限り確証しているのです。資格認証の目的のためだけでも、だれが出席していたか、だれがプログラムの各部を行ったか等を知る必要があります。議事録を承認する時は、会員が議事録に含まれるすべてのことを読むのを聞くか、そのようなコピーを手元にもつべきです。議事録には以下の事のみ含めるべきです：

(1) 会合型一例会、臨時会、休会など；時間、日付、そして会合の場所；会長と書記またはその代理；そして前回の議事録が承認されたかどうか；(2) すべての主要動議、それが採択されたか破棄されたか、またはどのように一時的に処理されたか；(3) 異議と議事進行上の問題；(4) 動議のすべての事前通告；(5) そして閉会時間。議論やプログラムについての華やかな形容を含めるべきではありません。しかしITCでは、議事録に各会合においてプログラムのさまざまな部分を行った人と、出席した人の名も入れるべきだと勧めています。

ついでながら、私のクラブではビジネスは緊急の時以外1回おきにやるだけです。

《質問》 破棄された動議を議事録に記載しますか。

（答） はい、します。すべての主要動議は採択、破棄にかかわらず議事録に入れます。しかしながら、異議と議事進行上の問題以外の破棄された優先、補足、付帯動議は記載しません。もしも主動議が修正動議と再修正動議を受けるなら、書記はそのような動議を以下のように記録すること

ができます：「Aさんによる動議は、2月28日にスピーチコンテストを行い、全会員が出席するようにと修正され採択されました。」途中の議論や動議は載せません。

《質問》もし私たちの会則に、ITCの会則と同じく定足数は役員会の過半数であると書いてあれば、3人の構成員がやめたら定足数はかわりますか。

(答) 私の意見では変わりません。ITC役員会は、11人の選出された役員で構成されていますので、その定足数は6名です。もし3名がやめて空きがうめられなくても(私はできるだけ速やかに埋められると確信していますが)定足数は6名のままです。これを異議を唱えた人もいますが、その人達は会則に書かれている「定足数は役員数の過半数です」という状態を考えているのだと思います。この場合、役員数はもし3名がやめたら9名だけになり、定足数は5名になります。会則を作ったり解決する時は、使用する言葉にとっても注意を払わなければなりません。一つの単語または句読点によって違うものとなる可能性があります。

《質問》総意により採択された動議について、どの会員でもその動議の採決を再審に付すという動議を出すことができますか。

(答) ロバート法によると、多数側に投票した人々のみが動議の再審のための動議を提出できます。この例では、もし会員がその会合に出席しており動議は総意により採択されたなら、皆が多数側に投票したと思われるので、だれでも再審の動議を出すことができます。レントンはこの動議を使用しません。彼は以下のように言います。「もし規則から決議案を取り除きたいときは、解除の適切な動議を可決することでなされます。」他の国での議会法の大家がそのような場合、どのようにするのかより知りません(どのようになされるか聞けたらうれしいのですが)が、「再審議」は純然たるアメリカの動議であると思います。

早瀬好子訳(筑波クラブ)

### 旅に出て素晴らしい経験をしてみませんか

Pay a Visit — Receive a Bonus Training Experience p.24

Dorothy Quaile

Salix Club, Zimbabwe

もし皆さんがよそのITCクラブを訪ねる機会がありましたら、それは素晴らしい経験となるでしょう。ジンバブエのクラブは広い地域に点在しておりますので、他のクラブの方々とはカウンスル例会の時しかお目にかかれませんが、おそらく皆さんのカウンスルも似たような状態でしょう。たしかにクラブはたくさんありますが、めったに訪問できません。私は南アフリカにあるピーターマリッパークラブを休暇中に義理の娘とともに訪れ、そこで心からのあたたかいもてなしを受けて大へんくつろぐことができました。この例会はカウンスル役員の方の訪問により、いっそう素晴らしいものとなりました。プログラムは、即席スピーチの有意義なワークショップが含まれていました。私達全員「全ての道はローマに通ずる」という課題を即席スピーチにまとめるため、10分間の準備時間が与えられました。スピーカーは様々な試みをしながら課題にとりくみ、プログラムリーダーは即席スピーチでは、工夫しだいで課題をどのようにも言い換えられるということを興味深く私達に話してくれました。例えば“avalanche(なだれ)”でしたら“ave a lunch-on me(昼食は私のおごりで)”というように全く違ったものにできるのです。プログラムに2人の新会員による素晴らしいアイスブレイカースピーチがありました。一つはアラン・パトン氏を讃えたもので、もう一つはインド人会員によるサリーの着方のデモンストレーションでした。その他アフリカ人の会員による妖術師とその所有物についての犬へんドラマチックな話がありました。評価は思いやりがあり、相手の立場に立って役に立つものでした。私は友情の厚いメンバーや異なったmeetingを経験して大いに刺激を受けてきました。いかがですか？

訪問とはいわば異なった「個性」に触れることであることをお忘れなく。このことはお互いに意見

を異にする個々のクラブが同じ方法、同じトレーニング、同じ知識欲の上になってクラブを作りあげることによって私達の組織をユニークなものにしています。

もし皆さんがよその町や国を訪ねる予定がおありでしたら、ITCコミュニケーターの外国名簿をチェックして下さい。そして訪ねたい旨をその会長に伝えて下さい。きっとあなたは大変なもてなしを受けるでしょう。

山岸まち子訳(筑波クラブ)

## 手紙

Letters p.24

Monica Downey

Wirral Club, Merseyside, England

### 編集長様

ITCコミュニケーターでは、しばしばクラブの中の様々な役割や興味のもたれる分野に焦点をあて、読者の注意を惹こうとします。ここに、おそらく充分、会員に認識されていない仕事を選んで紹介して下さい。それは私がクラブで一番大切だと感じているものです。ホストあるいはホステスの役です。ITC以外の他のクラブでは、新会員は時々げんこつをふりかざしながら(文字通りではありませんが)会に入っていかねばなりませんし、あるいは誰かに話しかけられるのを座って待つしかありません。

最初に私がITCを訪ねた時は、それとは何とちがっていたことでしょうか！私はクラブの誰をも知らないまま自分で出席したのですが、ホステスにあたたかく迎えられました。彼女は私を他の会員に紹介するだけでなく、その間ずっと私がとり残されたと感じないよう気配りしてくれました。もう一度出席してみようと私に思わせたのは彼女です。決して誇張ではありません。これは2年以上も前のことです。その時、ITCが私の生活にどんなに大切かはわかりませんでした。もし初めての会合で歓迎されていなかったら事態は違っていたでしょう。ITCはこの分野で卓越していると私は感じています。しかし私達は本当のあたたかい歓迎の価値を忘れてはなりません。誰かが言っていました。「第一印象は、やり直しがきかない。」それなら、初めてクラブを訪問する時の気持ちを是非とも忘れないようにしましょう。どの訪問者をも歓迎しましょう。会員になる人かもしれないからというだけでなく、ITCでは、それ本来の目的のためにふさわしいことをしようと努めるのです。

よく言って下さいました。————— 編集長

柴田ひさ訳(筑波クラブ)

## 翻訳者募集のお知らせ

本年度から暫定事務局の翻訳部として翻訳者の登録制度に基づき翻訳作業が行なわれています。ITCからの教育資料や情報、コミュニケーターの記事、また通信物等を翻訳者に割り当てて日本リージョンの会員のニーズに応えています。

只今登録されている20数名の翻訳者全員がその能力をフルに発揮して下さい。翻訳の作業は非常に円滑にしかも正確かつ速やかに行なわれています。この方達に加えて、できるだけもっと多く翻訳作業に参加して頂く方を募集いたします。

翻訳の作業を通してより深くITCを理解し自分自信を高めることができます。貴方の才能を生かして、有意義な仕事としてご協力下さいますよう、お申し出をお待ちしております。

### 応募要領

1. 資格……会員及び会員以外でITCの活動を理解して下さいの方。
2. 翻訳の種類
  - a. 年2回本部より送られるオールクラブメイリング
  - b. ITC教育資料
  - c. コミュニケーター
  - d. ITC本部と役員及び委員長通信物
  - e. その他
3. 期間……翻訳者の規約は1年ごとに更新されます。
4. 報酬……翻訳作業は有料にて会員、非会員に定められた報酬が支払われます。

---

### 応募申込書式

氏名  クラブ名

住所  電話番号

会員以外の方はご紹介のクラブ、会員名

※お申込み下さいます方は葉書に上記書式に従い該当欄にお書き込みの上、1989年9月末日迄に下記までお送り下さい。

折返し、翻訳規約書と翻訳者登録申込書をお送りします。

〒487 知多市巽ヶ丘267  
新木昌子方  
ITC日本暫定事務局

## ITC日本リージョン役員会

## 選出役員

- 会長 鈴木宏子 (名古屋)  
〒467 名古屋市瑞穂区高田町3-21  
☎ 052-852-0204
- 次期会長 バルク良子 (神戸)  
〒658 神戸市東灘区御影山手2-1-18  
☎ 078-851-8487
- 第一副会長 野田絢子 (阪神)  
〒665 宝塚市武庫山2-1-32  
☎ 0797-72-3800
- 第二副会長 木下あつ子 (大阪)  
〒545 大阪市阿倍野区橋本町3-20  
☎ 06-661-2665
- 書記 鶴飼恵津子 (名古屋)  
〒462 名古屋市北区駒止町1-50-2  
☎ 052-916-2033
- 会計 星野佐登 (葵)  
〒466 名古屋市昭和区八雲町36  
☎ 052-832-1354

## Japan Region Officers

## Elected Officers

- President: Hiroko Suzuki (Nagoya)  
3-21, Takada-cho, Mizuho-ku, Nagoya 467  
(Tel. 052-852-0204)
- President-Elect: Yoshiko Bark (Kobe)  
2-1-18, Mikageyamate, Higashinada-ku, Kobe 658  
(Tel. 078-851-1988)
- 1st Vice President: Ayako Noda (Hanshin)  
2-1-32, Mukoyama, Takarazuka-city 665  
(Tel. 0797-72-3800)
- 2nd Vice President: Atsuko Kinoshita (Osaka)  
3-20, Hashimoto-cho, Abeno-ku, Osaka 545  
(Tel. 06-661-2665)
- Secretary: Etsuko Ukai (Nagoya)  
1-50-2, Komadome-cho, Kita-ku, Nagoya 462  
(Tel. 052-916-2033)
- Treasurer: Sato Hoshino (Aoi)  
36, Yagumo-cho, Showa-ku, Nagoya 466  
(Tel. 052-832-1354)

## 編集後記

“一年を振り返って”

第4号の完成を目前にして、編集の仕事もいよいよ終わろうとしています。やり終えたという充実感を味わうという実感はまだこれからでしょうが、スタッフ一同、誠意をもってとり組んできたつもりです。第1号は手探りのうちに活動が開始、第2号、第3号と少しずつ慣れるにつれ仕事も把握できるようになり、余裕をもって発行することができました。この一年、ITCでまた大きな収穫を得ることができたと自負しております。お忙しい中、原稿をお寄せ下さいました皆様、常に適切なお指示と素早い判断力でご指導賜りました鈴木会長に心から感謝申し上げます。毎回、正確なコミュニケーターの翻訳原稿をお送り下さいました翻訳委員の皆様、そして、終始変わらぬ誠実な態度でご協力いただきましたデスカ印刷の川口様、最後に4人のスタッフの方々、英語の有能な奥田さん、川崎さん、丁寧な仕事で適切なアイデアを出してくださる石川さん、飯沼さん、と本当によいメンバーに恵まれ、惜しみなく協力していただきました。

会員の皆様、一年間ご購読ありがとうございました。

編集者 堀内 廸子

アシスタント：飯沼佐智子 石川 好子  
川崎 瑤子 奥田小夜子

